

兵庫県現代詩協会 20年のあゆみ

一九九五年

1月17日／阪神・淡路大震災がおきる。
 (午前5時46分)兵庫県南部に甚大な被害が
 発生した。

一九九七年



1997年11月23日に行われた兵庫県現代詩協会設立総会

▼震災発生から協会設立までに
 刊行された詩のアンソロジー
 『詩集・阪神大震災』1995年4月
 17日発行▽編集・発行『アート・
 エイド・神戸 文学部門』▽呼び
 かけ人伊勢田史郎、志賀英夫、直
 原弘道、松尾茂夫、安水稔和、和
 田英子▽発売『海文堂書店』
 『詩集・阪神淡路大震災 第2集』1
 996年1月17日発行、編集『ア
 ート・エイド・神戸 文学部門』
 △呼びかけ人伊勢田史郎、志賀英
 夫、直原弘道、松尾茂夫、安水稔和
 和田英子▽発行『詩画工房』
 『復興への譜 阪神淡路大震災 第3
 集』1997年1月17日発行、編
 集『アート・エイド・神戸 文学
 部門』▽呼びかけ人伊勢田史郎、
 鈴木漠、志賀英夫、直原弘道、高橋
 徹、松尾茂夫、安水稔和、和田英子
 △発行『詩画工房』

▼協会設立前からつづく詩誌
 永井ますみ『現代詩神戸』1956年1月創刊・
 通巻253号
 なす・こういち『鳥』1982年創刊 通巻70号
 福田知子『Makage』1982年創刊 通巻49
 号
 以倉敏平詩誌『アリゼ』1987年9月創刊・通
 巻176号
 『プラタナス』玉川侑香、神戸詩人会議編集・
 1989年10月創刊 通巻59号
 玉川侑香『プラタナス』神戸詩人会議1989年
 創刊 通巻59号
 高橋夏男『別嬪』1990年4月創刊・通巻99
 号
 文芸誌『表情』西宮市芸文協会 1992年10月
 創刊・通巻24号
 香山雅代『Mozart』1993年創刊・通巻48
 号
 玉井洋子『ア・テンポ』1993年12月創刊 通
 巻50号
 (☆各詩誌の同人氏名は『会員による詩誌紹介』に掲載)

7月17日／第一回設立準備会
 8月8日／第二回設立準備会
 10月3日／第三回設立準備会
 10月17日／設立発起人会
 11月23日／「設立総会」を開催(芦屋市民センター)。
 当日までの入会予定者総数194名のうち、総会出席者63名(決議委
 任122名)。直原弘道の司会で開会し、まず伊勢田史郎が総会にあた
 るまでの準備段階の経過を報告、つづいて同氏から会名、会則の議案
 が提案されて会員の挙手によって可決し、当協会の設立が正式に成
 立。

〈設立総会時の主な役員〉

- ▼会長 安水稔和
- ▼副会長 伊勢田史郎、直原弘道、和田英子
- ▼事務局長 松尾茂夫 ▼会計 鈴木漠
- ▼顧問 池田昌夫、小林武雄、杉山平一
- ▼理事 青木はるみ、朝比奈宣英、以倉敏平、市川宏三、大西隆志、金
 田弘、香山雅代、季村敏夫、志賀英夫、高須剛、たかとう匡子、高
 橋徹、高橋夏男、多田智満子、谷田寿郎、時里二郎、福井久子、藤
 木明子、
- ▼監事 岡見祐輔、住吉千代美
- ・顧問 杉山平一、小林武雄両氏が就任挨拶。
- ・徳島現代詩協会より5名が当日ゲスト参加、同協会 宮田小夜子会
 長より祝辞。
- ・会則が同日より発効。
- ・会費は設立初年度のみ2千円、以後3千円(2005年度)。

1997年／詩集
 杉山平一詩集『杉山平一全詩集』編集工房ノア
 北野和博詩集『いつてきます』編集工房ノア
 神尾和寿詩集『モンローな夜』思潮社
 玉川侑香詩集『四丁目の「まさ」』風来舎
 たかとう匡子詩集『ユンボの爪』砂子屋書房
 鈴木漠詩集『続・鈴木漠詩集』審美社
 松尾茂夫詩集『松尾茂夫詩集』日本現代詩文庫
 (第2期10) 土曜美術社出版販売
 高橋夏男詩集『ふたつの村』風来舎
 彼末れい子詩集『指さす人』風来舎
 森本敏子詩集『ことしの若葉』編集工房ノア
 西谷民五郎詩集『嗚呼花の機動隊』土曜美術
 社出版販売
 渡辺信雄詩集『宙吊りの夏』霧工房
 伊丹公子詩集『カンボジアの壁 伊丹公子詩
 集』春陽堂書店
 高須剛詩集『夜中に父はヴァイオリンを弾い
 た』ガル出版企画
 中島妙子詩集『陽を食む』詩学社
 詩集『阪神淡路大震災第三集』詩画工房
 岸本康弘詩集『傷が咲く』二十一世紀社
 西海ゆう子詩集『風が渡る』私家版
 玉本格詩集『遍歴』玉本格出版印刷
 川田あひる詩集『馬になる』彼方社
 田村周平詩集『アメリカの月』ガル出版企画
 山南律子詩集『とき色の塔』詩画工房
 岩成達也詩集『鳥・風・月・花』抄』思潮社
 杉山平一詩集『杉山平一全詩集』編集工房ノア

12月5日／第一回常任理事会
12月15日／通信第一号発行

2月2日／第二回常任理事会
2月21日／第一回理事会

・出席・岡見、金田、香山、季村、志賀、直原、鈴木、住吉、高須、たかとう、高橋(夏)、多田、谷田、時里、福井、松尾、安水、和田の諸氏計18名、委任状6名

初の主催事業(講演と朗読の集い)「明日への架橋」(サンピア明石5階フロイデ・ホール)

・参加80余名。

・協賛 アート・エイド・神戸、明石ペンクラブ／後援 兵庫県文化協会、神戸芸術文化会議、神戸市民文化振興財団、(財)兵庫県学校厚生会／援助 日本現代詩人会

・第一部・司会Ⅱ直原弘道、挨拶Ⅱ長谷村礼三郎 明石ペンクラブ事務局長、挨拶Ⅱ安水会長、講演Ⅱ多田智満子「詩における虚構と現実」、講演Ⅱ金田弘「自身の詩作姿勢―会津八一と西脇順三郎の対比を交えて」

・第二部・司会Ⅱ和田英子、「三年目の震災詩」 自作詩朗読Ⅱ岩川昌子、岩崎風子、江口節、尾崎美紀、北野和博、玉井洋子、玉川侑香、永井ますみ、中島妙子、西海ゆう子、森本敏子、由良佐知子、三浦照子、渡辺信雄

渡部兼直詩集『もつとやはらかい詩』編集工房ノア

宮川守詩集『待つ』風来舎

三浦照子詩集『漂う被災マンション』風神編集室

西村敏子詩集『土佐から播州へ』耕虫舎

直原弘道詩集『それから』私家版

吉田豊治詩集『黒い涙』北大阪企画センター

時安善子詩集『赤い点滅』摩耶出版社

評論・エッセイ

安水稔和ラジオのための作品集『鳥』編集工房ノア

直原弘道評論集『直原弘道の七〇年代論集』私家版

多田智満子随筆『森の世界命樹へのまなざし』人文書院

寺田操評論集『恋愛の解剖学』風琳堂

連句集

鈴木漠連句集『風餐抄』編集工房ノア

絵本

尾崎美紀『ハロー こんにちは』チャイルド

尾崎美紀『あたしのいもうとちゃん』ひさかた

チャイルド

1998年／詩集

田中荘介詩集『小目野』編集工房ノア

玉川侑香詩とエッセイ『ここは生きる』こや

ユック舎

西海ゆう子詩集『風が渡る―中国・少数民族

の村から』私家版

3月28日／第三回常任理事会

4月1日／会員数206名

4月6日／通信(会報)第2号発行(発行・事務局Ⅱ松尾方)

・B5判、4頁

5月2日／第二回兵庫県現代詩協会総会の開催(兵庫県教育会館)

(記念講演)笠原芳光(京都精華大学名誉教授)「詩人の運命」

総会のあと記念講演。続いて詩集を刊行した会員の自作詩の朗読。交流会を催す。

／第二回理事会(兵庫県教育会館)。出席者16名、委任状6名(計22名)

・司会Ⅱ安水稔和会長。高橋夏男理事を会報(通信)担当、谷田寿郎理事を年刊詩集担当の常任理事に選出。組織担当と行事・渉外担当の常任理事は当面、直原弘道理事(副会長)が兼務。

*午後2時から 1998年度(第2回)総会(兵庫県教育会館三階ホール)

・出席者59名、委任状96名(計155名)。

・前年度活動報告と当年度方針案 松尾茂夫事務局長、前年度会計報告

と当年度予算案 鈴木漠會計担当常任理事、監査報告Ⅱ岡見裕輔監事

・会員による自作詩朗読 大塚子悠、彼末れい子、川田あひる、北野和

博、鈴木賀恵、高橋夏男、玉川侑香、西川昭五、西谷民五郎、水こし

町子、由良佐知子 飛び入り・岸本康弘(代読・仲清人)

・総会記念講演会「詩人の運命」

講師Ⅱ笠原芳光(宗教学家、京都精華大学名誉教授)「伊藤静雄を中心に」

由良佐知子詩集『どんな木』編集工房ノア

玉井洋子詩集『震える』白地社

今村欣史詩集『工場風景』私家版

橋本千秋詩集『長いノック』編集工房ノア

水こし町子詩集『水こし町子詩集 方向感覚

叢書4』方向感覚出版

鈴木漠詩集『変容』編集工房ノア

柴田実詩集『落としたボール』編集工房ノア

多田智満子詩集『川のはとりに』書肆山田

たかぎたかよし詩集『日用。釦ナド』編集工房ノア

國谷武夫詩集『白いピアノ』但馬文学会

杉本深由紀詩集『ふうわりと』編集工房ノア

阿木鉄郎詩集『風のように』祈りのように』私家版

梓野陽子詩集『海の位置』紫陽社

佐山啓詩集『地球のまわる音をきく』編集工房ノア

植村孝詩集『夢の葬式』土曜美術社出版販売

堀論詩集『コスモスの咲く頃&短詩詩集』藻川

出版

吉田草平詩集『詩のカルチャー合同詩集7』

前川穂積詩集『川育ち』耕虫舎

阿木鉄郎『悲しみの大地V』私家版

中原緋佐子詩集『水平飛行』土曜美術社出版販売

紫野京子詩集『火の滴』月草舎

植村孝詩集『夢の葬式』土曜美術社出版販売

- ・午後7時 別室にて交流懇親会。30数名が参加。
- 5月31日／詩の架け橋ツアー ―兵庫と徳島の両現代詩協会交流会（現代詩の朗読と講演の会）「コンティオ・ポエティカ12」（徳島郷土文化会館5階ホール）
- ・主催 徳島現代詩協会
- ・第一部 朗読 徳島現代詩協会有志12名
- ・第二部 朗読 兵庫現代詩協会有志7名（香山雅代、高橋夏男、永井ますみ、森本敏子、柴田実、村中秀雄、大西隆志）
- ・第三部 講演 「こころの橋・ことばの橋」安水検和
- ・交流と歓談（阿波うず潮ビール）
- ・明石海峡大橋の開通をふまえ、県協会準備段階から交流会の呼びかけを徳島側から受けていた。鈴木漠氏が両協会の橋渡し役。

- 6月25日〜7月20日／展覧会事業「川のボエジー―詩と美術のコラボレーション」（加古川市主催）
- ・「川の日」記念事業。
- ・県協会として後援、会員に案内・出品参加者を募集。協会所属の詩人を中心に協力美術家を含め118名のコラボレーション展となる。
- ・川に関わる講演（詩人 井上俊夫、作家 池澤夏樹、詩人 杉山平一）、コンサート（音楽グループ SAM）、川の詩の朗読会（俳優 東村晃幸）など5つのイベントを加えて成功裡に閉幕。

- 8月1日／常任理事会（神戸・元町 喫茶「フルト・ベングラール」）
- ・会員情報誌を「通信」から「会報」と改め、号数をひきついで随時発行する。

- ・秋の講演・朗読会を姫路で行うこととして準備に入る。
- 8月13日／「会報」3号発行（編集：高橋夏男、松尾茂夫。発行：安水検和。発行所：事務局・松尾方）
- ・会員情報誌の題名を「通信」から改め、号数をひきつづ。
- ・B5判4頁
- ・会員数212名。

- 10月18日／理事会と講演、朗読の会を姫路市で開催。
- ・午前 第3回理事会（姫路文学館講堂）
- ・第2回講演と朗読の集い「明日への架橋」（姫路文学館講堂）
- ・後援 姫路市教育委員会、姫路市文化振興財団、姫路地方文化団体連合協議会、半どん播磨の会、兵庫県文化協会、日本現代詩人会など
- ・参加者90名余。会員の他、一般参加者多数。
- ・第一部 講演
- 「対話する詩・連句」鈴木漠 13時30分〜16時00分
- 「夢前川の河童・遠地輝武」市川宏三
- ・第二部 自作詩朗読（阿木鉄郎、大西隆志、片岡英恵、小西たか子、小西誠、田村周平、時里二郎、浜田多代子、山名才、渡部兼直）
- ・終了後、同会場で懇親交流会

評論・エッセイ
安水検和詩文集『焼野の草ひら―神戸今も』編集工房ノア
和田英子評論集『風の如き人への手紙―富田碎花宛書簡ノート』編集工房ノア
金田弘回想記『高橋新吉 五億年の旅』春秋社
伊勢田史郎編著『十五夜の指』編集工房ノア
中島まさの、友子『統三羽のうさぎ』詩画工房
池田昌夫『昭和詩の回顧』編集工房ノア
翻訳
多田智満子訳書マルセル・シュウオップ著『少年十字軍』王国社新装版

詩と批評「BIDS LIGHT」1998年5月刊・寺田操、吉田光夫、日下部正哉ほか
文芸誌「たうろす」1963年1月刊1998年7月88号で終刊▽発行人：安水検和▽小川正己、小島輝正、多田智満子、福井久子ほか▽編集：山田幸平

★1月25日／協会初の刊行本（年刊詩集）『ひょうご現代詩集'98』刊行
 ・会員122名参加。A5判、260頁
 ・担当理事 谷田寿郎、和田英子副会長と二人編集体制で準備。
 ・作品参加の会員（参加費6千円）に2冊ずつ郵送。その他は特別価格で頒布（2500円）。県内公共図書館に兵庫県立図書館経由で一括寄贈し、他都道府県詩人団体、新聞雑誌社等へ配布。

2月16日／会報4号発行（編集：高橋夏男、松尾茂夫。発行：安水稔和。発行所：事務局・松尾方）
 ・B5判4頁

3月13日／理事会と出版記念会

- ・第4回理事会 12時30分
- ・『ひょうご現代詩集'98』出版記念会（神戸市中央区北野「六甲荘」）
 14時00分～16時00分
 ・参加者約60名
- ・第1部 司会：直原弘道。挨拶：安水稔和
- ・第2部 司会：和田英子。自作詩朗読（青木はるみ、井上修子、川田あひる、北野豪一、小西民子、在間洋子、佐土原夏江、梓野陽子、高須剛、田中荘介、永井ますみ、中原緋佐子、由良佐知子。1月逝去の会員 宮田恭子の詩を森本敏子が代読）
 ・出席者全員の自己紹介
 ・閉会挨拶 渡部兼直

5月29日／理事会と総会を開催。

- ・第5回理事会 12時30分
 出席18名、委任状5名
- ・1999年度（第3回）総会（西宮市民会館大会議室）
 14時00分～15時00分
 出席者58名（出席回答で当日欠席3名）、委任状96名。
 〈第1部〉
 ・議長・司会：直原弘道副会長
 ・前年度活動報告：松尾茂夫事務局長、決算報告：鈴木漠会計、監査報告：岡見裕輔監事
 ・役員選挙（1月23日）開票結果報告 大西隆志理事（選挙管理者代表）
 第2期役員を選出（1999年5月29日～2001年3月31日）
 ▼会長：安水稔和 ▼副会長：伊勢田史郎、直原弘道、和田英子 ▼事務局
 長：松尾茂夫 ▼会計：鈴木漠 ▼常任理事 高橋夏男（会報担当）、谷田寿郎（年刊詩集担当） ▼理事：青木はるみ、赤松徳治（新）、朝比奈宣英、以倉紘平、大西隆志、岡見裕輔、季村敏夫、志賀英夫、たかとう匡子、高須剛、多田智満子、高橋徹、田村周平（新）、時里二郎、福井久子、藤井明子 ▼監事：住吉千代美、三宅武（新）。
 ▼顧問：池田昌夫、小林武雄、杉山平一。
 ・再任新役員により議事進行。当年度活動方針案：松尾、予算案：鈴木、挨拶：安水。

- 〈第2部〉
- ・講演「エズラ・パウンドに於ける俳句と能」 福井久子
- ・講演「富田碎花と兵庫の詩人たち」 和田英子

1999年／詩集

- 青木はるみ詩集『火葉』 沖積舎
- 牧田榮子詩集『茉莉花』 溼標
- 香山雅代詩集『雪の天庭』 銅林社
- 吉田草平詩集『半詩集』 耕虫舎
- 神田さよ詩集『ハーフコートををはおって』 編集工房ノア
- たかとう匡子詩集『立ちあがる海』 思潮社
- 井之上幸代詩集『そおつと春風が』 白地社
- 直原弘道詩集『断層地帯』 編集工房ノア
- 直原弘道詩集『直原弘道詩集 日本現代詩文庫・第2期（18）』 土曜美術社出版販売
- 在間洋子詩集『花瓶の水』 土曜美術社出版販売
- 安水稔和詩集『生きていくということ』 編集工房ノア
- 安水稔和詩集『安水稔和全詩集』 沖積舎
- 西川保市詩集『鬼はまだいる』 編集工房ノア
- 西川めぐみ詩集『田尾さんの耳』 風来舎
- 田中敏弘詩集『夕焼けをあび』 ヴァイン
- 佐藤勝太詩集『遙かな時』 編集工房ノア
- 浜野伸二郎詩集『梵鐘』 風来舎
- 奥田和子詩集『靴』 編集工房ノア
- 藤永久子詩集『江釣子』 彼方社
- 佐伯圭子詩集『風祭』 編集工房ノア
- 季村敏夫詩集『かむなで』 書肆山田
- 石山淳詩集『田螺日記』 編集工房ノア
- 富哲世詩集『天人五衰』 めらんじゅ叢書
- 福井久子詩集『形象の海』 編集工房ノア
- 原三佳詩集『吾赤紅』 編集工房ノア
- 片岡英恵詩集『ひとりごと』 はなデザイン

- 瑞木よう詩集『夢見の杖』 EPOC
- 豊原清明詩集『朝と昼のてんまつ』 編集工房ノア
- 鳥巢郁美詩集『日没の稜線』 編集工房ノア
- 橋本光子詩集『切符』 編集工房ノア
- 三浦照子詩集『悼ましい構図』 美術書院
- 大塚子悠詩集『風の駕籠』 詩画工房
- 青木敬介詩集『海底燐光』 編集工房ノア
- 坂本遼作品集『たんぼの詩』 姫路文学館
- 朝比奈宣英『写真』 霧工房

評論・エッセイ

- 高橋夏男『流星群の詩人たち』 林道舎
- 四方章夫『前衛詩論』 思潮社
- 寺島珠雄『南天堂―松岡虎王磨の大正・昭和』 皓星社
- 寺島珠雄『寺島珠緒 詩・エッセイ』 現代詩神戸研究会
- 寺田操『金子みすゞと尾崎翠』 白地社
- 藤本明子文・北村泰生写真『播磨の祭り』 神戸新聞総合出版センター
- 西村好子『散歩する漱石』 翰林書房
- 田中久子『E・パウンドとT・S・エリオット』 編集工房ノア

詩画集

- 福田知子詩画集『ハダカの螺旋』 宝塚出版
- 詩画集『潮風にうたう』 同刊行実行委員会
- 絵本
尾崎美紀『もしもしもの』 へいたくん』チャイルド

〈第3部〉

・自作詩朗読（鮑浦敏、今村欣史、奥田博之、香山雅代、神田さよ、林重樹、紫野京子、谷田寿郎、三浦照子）

〈第4部〉

・17時30分〜19時30分 懇親会 35名参加

7月1日／会報5号発行（編集〓高橋夏男、松尾茂夫。発行所〓事務局・松尾方）

・B5判6頁

10月16日／秋季講演朗読会を開催。

定例・秋季講演朗読会「明日への架橋」―21世紀へ 日本列島各地へ現代詩の未来へ 橋を架けよう 詩の言葉で（ポートアイランド「神戸風月堂ゴルフ劇場」）13時00分〜

・日本現代詩人会 西日本ゼミナールと合同開催
・後援 兵庫県芸術文化協会、神戸芸術文化会議、アート・エイド・神戸実行委員会

・開会式（司会〓直原弘道）

開会挨拶〓長谷川龍生（日本現代詩人会会長）

歓迎挨拶〓杉山平一（兵庫県現代詩協会顧問）

〈第1部〉講演「生きていくのです」 宗左近

〈第2部〉対談「明日への架橋」片岡文雄（高知）、安水稔和（兵庫）

（鼎談予定のところ、金丸榊一氏（宮崎）欠席）

〈第3部〉詩の朗読とメッセージ

翻訳

〈共訳〉赤松徳治訳『現代ロシア文学最近短編小説集第1集』兵庫県日本ロシア協会

川田あひるの個人誌「a wind egg」12月創刊、通巻20号

連句集

鈴木漢編連句集『露滴抄』編集工房ノア

伊丹公子句集『伊丹公子花神現代俳句』花神社

伊丹公子句集『運河と水仙 伊丹公子句集』春陽

堂書店

増田まさみ句集『冬の楽奏』霧工房

絵本

玉川侑香 震災を語り継ぐ本三部作I『四丁目
の「まさ」 比良出版

司会〓江口節

朗読〓森原直子（愛媛）、堀内統義（愛媛）、小野静枝（山口）、福谷昭

二（広島）、田中郁子（岡山）、くにさだきみ（岡山）、田村のり子（島

根）、川上明日夫（福井）、季村敏夫（兵庫）、大西隆志（兵庫）

・閉会挨拶〓三井葉子

・交流懇親会（レスポワールホール）

★2月15日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集'99』刊行（発行〓安水稔和）

・編集作業 谷田寿郎、和田英子（前回どおり）

・会員118名参加

・A5判、256頁

・定価3千円（会員価格2500円）。作品参加会員（参加費6千円）には2冊ずつ郵送。

2月24日／会報6号発行（編集〓高橋夏男、松尾茂夫。発行〓安水稔和、発行所〓事務局・松尾方）

・B5判6頁

3月18日／理事会と出版記念会を開催

◆理事会

◆『ひょうご現代詩集'99』出版記念会（兵庫県私学会館）14時00分〜

・50余名出席

・司会進行〓田村周平、たかとう匡子

2000年／詩集

江口節詩集『鳴きやまない蟬』編集工房ノア

福田知子詩集『単体の空』風来舎

高橋富美子詩集『駒袋』編集工房ノア

瑞木よう詩集『夢見の杖』EPOC出版会

安水稔和詩集『榎崎や見なんとて』編集工房ノア

安水稔和自選詩集『安水稔和詩集』沖積舎

井上修子詩集『花野へ』学習研究会教文社

佐土原夏江詩集『はるです』編集工房ノア

渋谷魚彦詩集『あの空の青』編集工房ノア

鈴木絹代詩集『もんたぜ』編集工房ノア

多田智満子詩集『長い川のある國』書肆山田

室井正彰詩集『鎮魂の風景』自費出版

渡辺信雄写真・エッセイ・詩集『途上で』霧工房

以倉敏平詩集『プシュパ・プリシユテイ』湯川

書房

田中敏弘詩集『夕焼けをあび』ヴァイン

和田英子詩集『よく見える屋根』編集工房ノア

中浜世子詩集『グリンピース』編集工房ノア

富哲世詩集『殺佛』ルナ企画

室井正彰詩集『鎮魂の風景』私家版

丸本明子詩集『無音』編集工房ノア

玉田五郎詩集『遠吠え』竹林館

たかはらおさむ詩集『碑の悲歌』摩耶出版社

山本美代子『西洋梨そのほか』編集工房ノア

古田豊治詩集『讃』書肆青樹社

かたおかはなえ詩集『ひとりごと』文芸社

さかたしげし詩集『彼女たち』摩耶出版社

- ・会長挨拶 安水稔和
- ・作品朗読 井之上幸代、井上修子、江口節、佐土原夏江、佐藤勝太、鈴木網代、高須剛、時里二郎、中嶋康雄、瑞木よう
- ・乾杯 伊勢田史郎
- ・スピーチ 和田英子（編集担当）、全参加者発言
- ・閉会挨拶 直原弘道

5月20日／理事会と総会を開催。

◆第7回理事会（加古川市野口町・加古川市立勤労会館）

- ・出席者16名、委任状10名、12時30分

◆第4回総会（加古川市立勤労会館）13時30分

- ・出席者50名、委任状109名

〈第1部〉 15時30分

- ・挨拶 安水稔和会長
- ・議長 司会 直原弘道副会長
- ・前年度活動報告、新年度活動方針案 松尾茂夫事務局長、決算報告・予算案 鈴木漢會計、監査報告 三宅武監事
- ・主な案件（1）会則改訂により名誉会員制度が確立、（2）従来の協会主催秋季講演朗読会（明日への架橋）を兵庫県へふれあいの祭典の一環として「詩のフェスタ兵庫」に。講演と自作詩朗読に加えて詩作品を公募・優秀作品を表彰（一般部門 全国、ジュニア部門 兵庫県内）
- ・閉会挨拶 和田英子副会長

〈第2部〉

- ・講演 「ヒーローを訳して考えたこと」 薬師川虹一（詩人、英文学者）

- 〈第3部〉 17時00分
- ・自作詩朗読 大川ひろ子、桂木恵子、香山雅代、彼末れい子、川田あひる、喜尚晃子、高谷和幸、玉田五郎、渡部兼直、月村香（新会員、飛び入り）

〈懇親会〉（加古川市民会館2階「つつじ」）

約40名参加。乾杯 伊勢田史郎副会長

6月30日／会報7号発行（編集 高橋夏男、松尾茂夫。発行 安水稔和。発行所 事務局松尾方）

- ・B5判6頁

- ・5月末現在会員数211名

11月19日／第1回「ふれあいの祭典―詩のフェスタひょうご2000」（兵庫県民会館11階ホール）

- ・出席者130名
- ・9月中旬に公募締切。一般部門（全国・高校生含む）216名、ジュニア部門（兵庫県内の小中学生）368名
- ・理事12名が両部門に分かれて作品選考
- 〈第1部〉 13時00分
- ・司会 福井久子
- ・挨拶 安水稔和（詩のフェスタひょうご実行委員会会長）、小林武雄（ふれあいの祭典実行委員会文化部長）
- ・選評 直原弘道（選考委員代表）
- ・ジュニア部門・一般部門表彰式

川田あひる詩集『鯉の翼』私家版
池永英二詩集『忘れ花』工房A B A
池永英二詩集『痺水母』工房A B A

評論・エッセイ

香山雅代詩論エッセイ集『露の拍子』書肆青樹社
寺田操詩人論『金子みすゞと尾崎翠』白地社
安水稔和詩文集『届く言葉―神戸これはわたしたちみんなのこと』編集工房ノア
多田智満子随筆『動物の宇宙誌』青土社
多田智満子随筆『字遊自在ことばめぐり』河出書房新社
伊丹公子紀行文『伊丹公子紀行文集3 地図と文鎮』春陽堂書店

以倉紘平エッセイ集『朝霧に架かる橋―平家・蕪村・現代詩』編集工房ノア

渡辺信雄詩・エッセイ・写真『途上で』霧工房

三浦照子『無名草子Ⅱ』美術書院

紫野京子『夢の周辺』月草舎

絵本
玉川侑香震災を語り継ぐ本三部作Ⅱ『ミヨちゃん』比良出版

玉川侑香震災を語り継ぐ本三部作Ⅲ『安っさん』比良出版

大橋愛由等句集『群赤の街』富岡出版

詩誌

『BDS』詩と評論1995年9月創刊2000年5月終刊通巻27号・寺田操、吉田光夫、高橋秀明、松尾真由美ほか

満浦謙之・兵庫県芸術文化協会常務理事、安水実行委員長により賞状盾など受賞者各人に手渡し。

・約1時間 講演「詩と常識」 杉山平一
(第2部) 16時00分 入選作朗読(一般部門入選者13名)

・司会 住吉千代美
・閉会挨拶 和田英子(実行委員会副会長)
・入選作品集を当日参加者に配布。一般部門応募者、応募学校にも郵送(懇親会)(同会館地階食堂) 16時30分 約2時間
・出席35名ほど

12月20日/会報8号発行(編集 高橋夏男、松尾茂夫。発行 安水稔和。発行所 事務局松尾方)
・B5判6頁

★2月28日/兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2000』刊行(発行 安水稔和)

3月6日~3月11日/「竹中郁と兵庫の詩人たち展」(神戸市立王子市民ギャラリー)

・2004年の生誕百年の節目を機に、竹中郁を顕彰する事業。
・竹中郁の生誕・逝去月である3月、ゆかりの関西学院跡地にチャペルの外装を復元した神戸市立王子市民ギャラリーを会場とする。
・会場の別コーナーで、会員の発行する県下の同人詩誌、最新集を展示して、会員相互の交流の一助とする。

3月11日/年刊詩集第3号となる『ひょうご現代詩集2000』の出版記念懇親会(喫茶レストラン「ボニー&クライド」) 16時00分~18時15分
・参加者44名
・司会進行 松尾茂夫、開会挨拶 安水稔和、乾杯 杉山平一、会員の朗読(今村欣史、池永英二、工藤恵美子、小西誠、たかはらおさむ、鈴木漠)、スピーチ(鈴木漠、大賀二郎、福井久子、三浦照子、たかとう匡子、玉川侑香)。閉会挨拶 和田英子。

5月27日/理事会と総会を開催。

〈第9回理事会〉(芦屋市民センター203号室) 11時00分
・新旧役員29名のうち出席21名、委任6名
〈第5回総会〉(芦屋市民センター1301号室) 13時00分
・出席54名、委任状99名。
・新役員人事案可決。

▼会長 安水稔和 ▼副会長 伊勢田史郎、直原弘道、和田英子 ▼事務局長(新) いたかとう匡子 ▼会計(新) 江口節 ▼常任理事 鈴木漠(新)、事業担当 高橋夏男(会計担当)、谷田寿郎(年刊詩集担当)、松尾茂夫(新) 事業担当 ▼理事 青木はるみ、赤松徳治、朝比奈宣英、以倉紘平、岩崎風子(新)、大西隆志、季村敏夫、住吉千代美(新)、多田智満子、高須剛、高橋徹、田村周平、時里二郎、福井久子 ▼監事 三宅武、由良佐知子(新)

▼顧問に金田弘を新たに推挙。池田昌夫、小林武雄、杉山平一との4人体制。
・講演「原田の森の詩人たち」講師 高橋夏男

2001年/詩集

丸田礼子詩集『Woman—不在だった場所へ—』遊文舎

香山雅代詩集『風韻』湯川書房

今村欣史詩集『コーヒーカップの耳』編集工房ノア

工藤恵美子詩集『テニアン島』編集工房ノア

大石玉子詩集『お元氣ですか』編集工房ノア

鈴木漠詩集『鈴木漠詩集』現代詩文庫162、思潮社

小西誠詩集『小さな歯車』摩耶出版社

佐藤勝大詩集『時の鼓』編集工房ノア

伊勢田史郎詩集『低山あるき』詩画工房

高谷和幸詩集『残照』土曜美術社出版販売

たかぎたかよし詩集『夜に触る』編集工房ノア

以倉紘平詩集特装版『プシユバ・プリシユテ—』湯川書房

鳳真治詩集『大正デモクラシー』青倉青春館

『詩のカルチュア(耕作) 合同詩集』耕虫舎

阿木哲郎詩集『マダン』悲しみの大地VI 自家版

今井ふじ子詩集『塔と風鐸と』編集工房ノア

小西たか子詩集『公園のプランコ』摩耶出版社

松本恵子詩集『萌音』編集工房ノア

磯田ふじ子詩集『MIROKU』弥勒 図書出版

丸田礼子詩集『woman—不在だった場所へ—』遊文舎

渡部兼直詩集『歌枕』米子今井書店

丸田礼子詩集『woman—不在だった場所へ—』遊文舎

奥田博之詩集『宇宙の旅人』詩画工房

斎藤直巳詩集『うたかたのうた』ふたば工房

たかとう匡子詩集『水嵐』思潮社

土居宣子詩集『残高証明』日東館出版

評論・エッセイ
藤本明子エッセイ集『猫かぶり』神戸新聞総合出版センター

安水稔和評論集『新編歌の行方—菅江真澄追跡』編集工房ノア

直原弘道論集『驢馬のいななき』浮遊社

伊丹公子『詩人の家伊丹公子エッセイ集』沖積舎

伊勢田史郎編著『門前の小僧』編集工房ノア

藤本明子『ひょうごの暮し365日』神戸新聞出版総合センター

丸本明子『帽子がとぶ』編集工房ノア

詩画集
金田弘詩画集『このいろをみよ』画廊山木美術

連句集
鈴木漠連句集『飛光抄』編集工房ノア

句集
石山淳句集『沢蟹』淳心社

翻訳
ロバート・グレイプス著、多田智満子、赤井敏

夫訳『この私、クラウドイウス』みずす書房

〈懇親会〉 17時00分／(芦屋市民センター203号室)
・37名参加。参加者全員が近況や詩作活動を語る。
6月8日／会報9号発行(編集＝高橋夏男、松尾茂夫。発行＝安水稔和。発行所＝事務局たかとう方)
・B5判、6頁

11月11日／「ふれあいの祭典―詩のフェスタひょうご」(兵庫県民会館)
・応募数＝一般部門314名(兵庫県外からの応募が約75%)、ジュニア部門354名。

〈第一部〉 司会＝鈴木漠
開会挨拶＝安水稔和 詩のフェスタひょうご実行委員会会長
挨拶＝小林武雄・ふれあいの祭典実行委員会文化部会長
講演＝「詩への希望」講師＝伊勢田史郎・同会副会長
〈第二部〉 司会＝江口節
選考経過報告＝松尾茂夫・同会選考委員代表
表彰式、入賞者による朗読
閉会挨拶＝和田英子・同会副会長
〈懇親会〉 同会場

12月12日／会報10号発行(編集＝高橋夏男、松尾茂夫。発行＝安水稔和。発行所＝事務局・たかとう方)
・B5判、8頁

・これまで掲載されてきた会員の詩誌紹介に加えて、「詩碑探訪」の掲載はじまる。第1回は、坂本遼「たんぼぼ忌の碑」(加東郡東条町横谷、

竹中郁 詩・デザインによる島田叡顕彰「合掌の碑」(兵庫県立兵庫高等学校内)

★2月28日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2001』刊行(発行＝安水稔和)

3月12日／17日／「竹中郁と子どもの詩展／兵庫・詩の現在展」(神戸市王子市民ギャラリー)が開催される。

この展覧会の期間中、対談と年刊詩集『ひょうご現代詩集2001』の出版記念会あり。

3月15日／対談「詩人たち―竹中郁とその仲間」杉山平一、安水稔和 15時00分

3月16日／対談「竹中郁 ぼくのおじさん・わたしの詩人さん」石阪春生(洋画家、竹中郁の甥)、安水稔和 15時00分

・終了後、年刊詩集『ひょうご現代詩集2001』出版記念会(喫茶レストラン「ボニー&クライド」)
・参加者43名。
司会進行＝鈴木漠、挨拶＝安水稔和、乾杯音頭＝杉山平一。会員の朗読またはスピーチ。閉会挨拶＝和田英子。

5月12日／理事会と総会が開催される。

◆第11回理事会(宝塚市立西公民館1階学習室) 11時30分

◆第6回総会(宝塚市立西公民館3階セミナールーム) 13時30分

・講演研修会「伊藤静雄の読まれ方」寺田操／「チャップリンと詩人た

2002年／詩集

杉山平一詩集『窓を開けて』編集工房ノア

春名純子詩集『風屋』編集工房ノア

坂東里美詩集『約束の半分』あざみ書房

和比古詩集『構図のあるパレード』竹林館

永井ますみ詩集『ヨシダさんの夜』土曜美術社

出版販売

安水稔和詩集『ことばの日々』編集工房ノア

森本敏子詩集『小さな庭』編集工房ノア

鈴木絹代詩集『だじょうぶ』編集工房ノア

村中秀雄詩集『夢の見方』編集工房ノア

室井正彰詩集『生命の声』近代文芸社

高須剛詩集『解禁橋詩選集』ガル出版企画

直原弘道小詩集VI『ひたひた』私家版

『詩のカルチュア(耕作)合同詩集』耕虫舎

池永英二詩集『曼珠沙華』近代文芸社

小林重樹詩集『一行二禮』関西四季の会

渡部兼直詩集『ぼえむかれんだあ』米子今井書店

西垣矩美子詩集『サボテンの月』編集工房ノア

眞野洋子詩集『マイナス志向』詩人会議出版

奥田博之詩集『ヒマラーヤの星』詩画工房

喜尚晃子詩集『回り舞台』手鞠文庫

松尾茂夫詩集『デンキブランでみた夢』別嬪倶楽部

杉山平一詩集『窓を開けて』編集工房ノア

評論・エッセイ

和田英子散文集『行きかう詩人たちの系譜』編集工房ノア

安水稔和評論集『眼前の人―菅江真澄接近』編集工房ノア

直原弘道評論集『窓からの眺め・Z氏の状況論ひかえ帳』考える』発行所

多田智満子随筆集『犬隠しの庭』平凡社

志賀英夫『戦前の詩誌・半世紀の年譜』詩画工房

伊勢田史郎『神戸の詩人たち』編集工房ノア

田中敏弘『風に思ふ空の翼』関西学院大学出版会

たかきたかよし散文集『天涯と地平―なごなく』霧工房

〈共著〉寺田操詩論『星月の惨劇』西川徹郎の

世界』茜屋書房

〈共著〉寺田操詩論『詩の力』田中国男論』行

路社

連句集

鈴木漠連句集『果樹園』徳島連句懇話会

句集

伊丹公子句集『アイコン』絵師伊丹公子句集『沖積舎

翻訳

シュリーマ著、奥田博之訳『ラーマクリシュナの福音II』東方出版

詩誌

江口節発行『多島海』創刊2002年6月通巻

28号

坂東里美・関はるみ詩誌『Contralto』2002年創刊・通巻36号

詩誌『灌木』2002年578号で終刊

ち」松尾茂夫

朗読会、懇親会（宝塚ホテル東館2階「菊の間」）17時00分～19時00分

6月12日／会報11号発行（編集＝高橋夏男、たかとう匡子。発行＝安水稔和、発行所＝事務局・たかとう方）

・B5判、8頁

11月17日／「ふれあいの祭典」詩のフェスタひょうご2002」に協会として3回目の参加（兵庫県民会館）

・応募数 総数813名。一般部門427名、ジュニア部門386名。

・第1部 司会＝たかとう匡子

開会挨拶＝安水稔和 詩のフェスタひょうご実行委員会会長

講演「詩と童謡」講師島田陽子

・第2部 司会＝松尾茂夫

選考経過報告＝和田英子・同会選考委員代表

表彰式、入賞者による朗読

閉会挨拶＝直原弘道

懇親会（同会場）

12月16日／会報12号発行（編集＝高橋夏男、たかとう匡子。発行＝安水稔和、発行所＝事務局たかとう方）

・B5判、8頁

★2月28日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2002』刊行（発行＝安水稔和）

5月11日／理事会と総会が開催される。

◆第13回理事会（神戸市中央区ラッセホール）12時00分～

◆第7回総会（同ラッセホール）13時30分～

・新年度役員人事案可決

▼会長＝伊勢田史郎▼副会長＝鈴木漠、福井久子、松尾茂夫▼事務局長＝たかとう匡子▼会計＝江口節▼常任理事＝直原弘道（事業担当）、安水稔和、和田英子（年刊詩集担当）谷田寿郎、三宅武

▼理事＝青木はるみ、赤松徳治、以倉紘平、岩崎風子、大西隆志、季村敏夫、志賀英夫（新）、高谷和幸（新）、田村周平、時里二郎、村中秀雄（新）、▼監事＝大賀二郎（新）、由良佐知子

・講演研修「戦後サークル運動の誕生と変遷」直原弘道

・懇親会 朗読、スピーチ 15時00分～17時00分

6月10日／会報13号発行（編集＝高橋夏男、たかとう匡子、発行＝伊勢田史郎、発行所＝事務局・たかとう方）

・B5判、8頁

6月10日／「ふれあいの祭典 詩のフェスタひょうご2003」（兵庫県民会館）

・応募数 総数467名。一般部門151名、ジュニア部門316名。文部科学大臣奨励賞が新設。

2003年／詩集

北野和博詩集『公園から』編集工房ノア

神尾和寿詩集『七福神通り―歴史上の人物―』思潮社

由良佐知子詩集『雲の階段』編集工房ノア

時里二郎詩集『翅の伝記』書肆山田

たかとう匡子詩集『水よ一緒に暮らしましよ』思潮社

尾崎美紀詩集『バリバリと』彼方社

尾崎美紀詩集『らいおん日和』らくだ出版

黒住孝子詩集『ひかりの問い』編集工房ノア

水こし町子詩集『種子になる』砂子屋書房

住吉千代美詩集『午前零時』潮流社

西川めぐみ詩集『つくりい』風来舎

井上富美子詩集『忘れもの』編集工房ノア

佐野博美詩集『午後の紅茶を飲む理由』文芸社

松尾繁晴詩集『季節めぐり』澤標

直原弘道小詩集VII『ふむふむ』私家版

『詩のカルチュア（耕作）合同詩集II』耕虫舎

山南律子詩集『鶴の声』編集工房ノア

中島まさの詩集『ふしぎ』編集工房ノア

由良佐知子詩集『雲の階段』編集工房ノア

鳥巢郁美詩集『冬芽』編集工房ノア

北野豪一詩集『遠雷』大和出版

岩成達也詩集『ひかり』……擦過』書肆山田

丸本明子詩集『雲海』知加書房

岩崎風子詩集『イボン』思潮社

奥田博之詩集『新しい光に包まれ』詩画工房

渡辺兼直詩集『失われし女を求めて』今井書店

評論・エッセイ

安水稔和評論集『おもひつづきたりー菅江真澄 説き語り』編集工房ノア

杉山平一エッセイ集『戦後関西詩壇回想』思潮社

杉山平一エッセイ集『映画の文体 テクニクの伝承』行路社

伊勢田史郎『神戸の詩人たち』編集工房ノア

伊勢田史郎編著『美男と美女の置き土産』編集工房ノア

金田弘随想集『四方四佛』湯川書房

以倉紘平エッセイ集『夜学生』編集工房ノア

以倉紘平エッセイ集『心と言葉』編集工房ノア

渡部兼直『兼狂呆師家集』米子今井書店

増田まさみ『画と七人の詩人作品集』『風薫る』美研インターナショナル

喜尚晃子『変身・そして変心』手鞠文庫

〈共著〉大橋愛由等『沖繩を深く知る事典』日外アソシエーツ

詩画集

直原弘道『馬と鶏』編集工房ノア

連句集

鈴木漠編『海市の会』『花神帖』編集工房ノア

句集

伊丹公子句集『伊丹公子自筆百句選』沖積舎

尾崎美紀『ごめんおぼけ』沙文社

寺田操『介助犬シンシアの物語』大和書房

詩誌

季村敏夫文芸誌『たまや』創刊通巻4号

- ・第1部 司会〓谷田寿郎
開会挨拶〓伊勢田史郎・詩のフェスタひょうご実行委員会会長
講演「ことばの世界」安水稔和
- ・第2部司会〓福井久子
選考経過報告〓鈴木漠同会選考委員代表
表彰式、入賞者による朗読
閉会挨拶〓松尾茂夫
- ・懇親会（同会場）

12月10日／会報14号発行（編集〓高橋夏男、たかとう匡子。発行〓伊勢田史郎、発行所〓事務局・たかとう方）
・B5判、8頁

★2月25日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2003』刊行（発行人〓伊勢田史郎）

- 3月16日〜3月21日／「竹中郁生誕百年記念展」（兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー東館）
- ・会員による初の「ひょうご詩画展2004」を併催。
- ・会期中の入場者は600人超
- 3月20日／対談「詩的雑談―西脇順三郎と竹中郁」飯島耕一、安水稔和
14時30分〜

- ・終了後に年刊詩集『ひょうご現代詩集2003』出版記念会（喫茶レストラン「ポニー&クライド」）
- ・6冊目の年刊詩集参加者は134名。

5月30日／理事会と総会が開催される。

- ◆第15回理事会（サンピア明石4階「太陽の間」）11時30分〜
- ◆第8回総会（サンピア明石4階「平安の間」）13時30分〜
- ・講演研修会「荒ぶる神々―『播磨国風土記』をめぐって」田中荘介
- ・懇親会 スピーチ、詩の朗読

6月17日／会報15号発行（編集〓高橋夏男、たかとう匡子。発行〓伊勢田史郎。発行所〓事務局・たかとう方）
・B5判、8頁

11月14日／「第5回ふれあいの祭典 詩のフェスタひょうご2004」（兵庫県民会館）（兵庫県民会館）
・応募総数525名。一般部門136名、ジュニア部門（小中学生）389名。

- 第1部・挨拶〓伊勢田史郎・詩のフェスタひょうご実行委員会会長
・講演「私の少年詩」扶川茂
- 第2部・選考経過報告〓福井久子・同会選考委員代表
- ・表彰式
- ・入賞者による詩の朗読

懇親会

2004年／詩集

- 玉川侑香詩集『かなしみ祭り』風来舎
- 中谷恭子詩集『緑色の目の犬』湯川書房
- 鈴木漠詩集『言葉は柱』編集工房ノア
- 中川道子詩集『ずっと会っていたように』編集工房ノア
- 安水稔和詩集『蟹場まで』編集工房ノア
- 小西誠詩集『羅漢の顔』摩耶出版社
- 西川保市詩集『大切な人』編集工房ノア
- 田中敏弘詩集『風になって』編集工房ノア
- 田中信爾詩集『室内楽』編集工房ノア
- 杉山平一詩集『青をめぎして』編集工房ノア
- 森本敏子詩集『樹のある方へ』編集工房ノア
- 伊勢田史郎詩集『妙音林からの手紙』編集工房ノア
- 井口幻太郎詩集『旧街道の通過する町』摩耶出版社
- なすこ『ういち詩集』タルタロスの人々。洛西書院
- 多田智満子著『封を切ると』（高橋睦郎編書肆山田）
- たかぎたかよし詩集『見跡記』編集工房ノア
- 伊丹公子詩集『黒い聖母伊丹公子詩集』Nagiko Lee, Catherine Yamamoto 訳 沖積舎
- 季村敏夫詩集『木端微塵』書肆山田
- 石山淳詩集『椅子取りゲーム』編集工房ノア
- 石山淳詩集『赤のイマジナリー・ライン』私家版
- 岸本康弘詩集『つばやくロマン』きしもとアート舎
- 中堂けいこ詩集『園庭』土曜美術社出版販売
- 直原弘道小詩集Ⅷ『そろそろ』私家版
- 吉田草平『詩のカルチュア合同詩集12』私家版

- 福井久子詩集『福井久子詩集 新・日本現代詩文庫23』土曜美術社出版販売
- たなかとしひろ詩集『風になって』編集工房ノア
- 奥田博之詩集『顔の回転』詩画工房
- 赤松徳治詩集『やさしい季節』白樺と琥珀の館
- 鈴木實恵詩集『青の花』編集工房ノア

評論・エッセイ

- 寺田操『紀行エッセイ』都市文学と少女たち』白地社
- 安水稔和『竹中郁 詩人さんの声』編集工房ノア
- 青木左知子『季節はずれ』溌標
- 田中荘介『播磨国風土記とところどころ』編集工房ノア

詩画集

- 平岡けいこ詩画集『誕生―ぼくはあす、不可思議な花を植え愛、と名づける―』星雲社

連句集

- 鈴木漠連句集『ぜびゆるす抄』編集工房ノア

翻訳

- シュリーマ著、奥田博之訳『ラーマクリシュナの福音Ⅳ』東方出版

小説

- 青木左知子『季節はずれ』溌標

その他

- 寺田操童話『介助犬シンシアの物語』ハングル版 ソウルパラダイス財団
- 西垣矩美子冠句集『五彩の塵をこぼしつつ』小学館スクウェア

12月15日／会報16号発行(編集||高橋夏男、たかとう匡子。発行||伊勢田史郎。発行所||事務局たかとう方) ・B5判、8頁

★2月28日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2004』刊行(発行人||伊勢田史郎)

3月8日〜13日／貴志邦三回顧展(県立美術館 原田の森ギャラリー東館)
・写真、詩集、詩誌紹介のほか、講演(次男 貴志房雄氏)、ミニコンサート(貴志邦三の歌詞による) など
・会員による「ひょうご詩画展」併催
・会期中、年刊詩集『ひょうご現代詩集2004』出版記念会開催

5月22日／理事会と総会が開催された。

◆第17回理事会(姫路文学館 南館) 11時00分〜

◆第9回総会(姫路文学館 北館3階講堂) 13時30分〜

・新年度役員人事案可決

▼会長||福井久子▼副会長||鈴木漠、たかとう匡子、松尾茂夫▼事務局局長 玉井洋子▼会計||小西誠▼常任理事||事業担当||直原弘道、和田英子(会報) 高橋夏男、(年刊詩集) 谷田寿郎・三宅武

▼理事||赤松徳治、以倉紘平、伊勢田史郎、岩崎風子、大西隆志、田村周平、時里二郎、安水稔和、由良佐知子

▼監事||江口節、高谷和幸

・講演研修「敗戦直後の姫路で興った詩活動」寺本躬久

・懇親会

6月17日／会報17号発行(編集||高橋夏男、たかとう匡子。発行||福井久子。発行所||事務局代行・たかとう方)

・B5判、8頁

11月23日／理事会と「ふれあいの祭典 詩のフェスタひょうご2006」を開催。

・第20回理事会(兵庫県民会館12階会議室) 11時00分〜

・第6回「ふれあいの祭典 詩のフェスタひょうご2006」(同会館11階バルテホール) 13時00分〜

・応募総数741名。一般部門A(高校生除く) 105名、一般部門B(高校生) 204名、ジュニア部門(小中学生) 402名。

第1部・挨拶||福井久子実行委員長

・記念講演「おかあさんの詩―坂本遼の世界」高橋夏男(当協会常任理事、坂本遼研究者)

第2部・選考経過報告||松尾茂夫・選考委員代表

・表彰式

・入賞者による詩の朗読

懇親会 一般の部受賞者の詩の朗読など。

12月20日／会報18号発行(編集||高橋夏男、玉井洋子。発行||福井久子。発行所||事務局 玉井方)

・B5判、8頁

2005年/詩集

彼未れい子詩集『ほほえみの人』 風來舎

牧田榮子詩集『春雷』 澤標

たかとう匡子詩集『学校』 思潮社

坂東里美詩集『タイフーン』 あざみ書房

高橋富美子詩集『塔のゆくえ』 編集工房ノア

工藤恵美子詩集『テニアン島』『Trinian Island』 編集工房ノア

瑞木よう詩集『まなざしに』 編集工房ノア

在間洋子詩集『船着場』 湯川書房

藤木明子詩集『どこにいますか?』 編集工房ノア

月村香詩集『牛雪』 思潮社

佐藤勝太詩集『掌の記憶』 詩画工房

岩井八重美詩集『水のあるところ』 編集工房ノア

中島瑞穂詩集『明け方の空』 編集工房ノア

藤永久子詩集『ピノキオの脚』 もず工房

森本敏子詩集『森本敏子詩集』 編集工房ノア

伊勢田史郎詩集『龍鐘譚ほか』 詩画工房

福永祥子詩集『夢にかえる』 JDC出版

井口幻太郎詩集『アルカディアの食事』 摩耶出版社

飽浦敏詩集『にぬふあ星』 沖繩タイムス出版部

藤永久子詩集『ピノキオの足』 もず工房

吉田草平『詩のカルチュア 合同詩集』 私家版

直原弘道『小詩集IX』『おいおい』 私家版

小島みどり詩集『鬼の庭』 湯川書房

赤松徳治詩集『風を追って*雲を追って』 白樺と琥珀の館

葛城啓子詩集『手に手をとって』 すみれ通信舎
北岡武司詩集『ピワの葉裏』 思潮社

評論・エッセイ

たかとう匡子エッセイ集『神戸ノート』 編集工房ノア

安水稔和評論集『小野十三郎 歌とは逆に歌』 編集工房ノア

安水稔和詩文集『十年歌』 神戸これから』 編集工房ノア

伊丹公子紀行文『伊丹公子紀行文集4 海山の手帖』 沖積舎

和田英子散文集『朱の入った付箋』 編集工房ノア

石山淳評論集『詩性の徘徊』 第一部/第二部/サングレクションプレス(SSP) 出版

伊勢田史郎編『男の意地と女の意地』 普通の市民二十一人の「私が愛した人生」五集』 編集工房ノア

田中荘介『玩物喪志』 やきもの「わたし」

大賀二郎『生物曼茶羅』 秘められた生物紀行』 神戸新聞出版総合センター

眞野洋子『かすみ草雑感』 懶パレード

〈共著〉大橋愛由等南島論『南島へ南島から』 島尾敏雄研究』 和泉書院

小説

喜尚晃子小説集『三角視覚』 手鞠文庫

歌集

多田智満子著『歌集 遊星の人』 (高橋睦郎編) 邑心文庫

★2月28日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2005』刊行
(発行人＝福井久子)

3月14日～18日／「足立巻一と天秤の仲間たち展」(兵庫県立美術館・原田の森ギャラリー)

- ・入場者のべ400人余
- ・「兵庫詩の現在展」(詩誌30誌展示)、「ひょうご詩画展」(作品出品34名46点)を併催。

・会期中に講演会「懐想のアダツツアン」宮崎修二郎(文芸評論家)。約100名参加。
終了後に懇親会(喫茶レストラン「ポニー&クライド」)。

6月4日／理事会と総会を開催。

◆第19回理事会(神戸市中央区ラッセホール5階「コスモスの間」)11時30分～

◆第10回総会(同会館5階「ハイビスカスの間」)13時00分～

- ・新年度行事として「神戸モダンイズムの詩人たち展」開催の提案。財政逼迫による年会費値上げの緊急動議が承認(2006年度より、従来年会費3千円を4千円に)。
- ・講演「詩と散文のあいだ」井上靖、足立巻一の詩から「たかとう匡子」『ひょうご現代詩集2005』出版記念会、懇親会(同会館地下1階「リリーの間」) 詩の朗読、スピーチなど。参加者37名。

詩誌

大橋愛由等編集発行詩誌「月刊めらんじゅ」

3月創刊・大西隆志、高谷和幸、寺岡良信、富哲世、福田知子、中堂けいこ、月村香、にしもとめぐみ、安西佐有理、黒田ナオ、中嶋康雄・通巻119号

文芸同人誌『幻想時計』たかぎたかよし、木辺弘児、仲清人、増田まさみ、渡辺信雄(1991年創刊)～2005年2月通巻25号で終刊)

C D
西垣矩美子『Sound Leaves』瞬間「コラボレーション」C D

2006年／詩集

田中荘介詩集『少年の日々』編集工房ノア

杉山平一詩集『杉山平一詩集』現代詩文庫104

8』思潮社

高谷和幸詩集『回転子』思潮社

寺岡良信詩集『ヴォカリーズ』図書出版まろうど社

和田英子詩集『和田英子詩集新・日本現代詩文庫45』土曜美術社出版販売

金田弘詩集『旅人は待てよ』湯川書房

岩井八重美詩集『水のあるところ』編集工房ノア

西垣矩美子詩集『詩句八苦』美研インターナショナル

高橋博子詩集『時の公園』編集工房ノア

吉永紗英、将真、中根美津子詩集『六人七脚』

6月23日／会報19号発行(編集＝高橋夏男、玉井洋子。発行＝福井久子。発行所＝事務局・玉井方)

- ・B5判、8頁

11月23日／理事会と第7回「ふれあいの祭典 詩のフェスタひょうご2006」の開催。

- ・第20回理事会(兵庫県民会館12階会議室)11時00分～
- ・年刊詩集(アンソロジー)は補助金減額で会員アンケートの結果、隔年発行とし、2006年度は見送る。

・第7回「ふれあいの祭典 詩のフェスタひょうご2006」(同会館11階パルテホール 13時00分～)

・応募総数1107名。一般部門A(高校生除く)96名、一般部門B(高校生)254名、ジュニア部門(小中学生)853名。

- 第1部・挨拶＝福井久子実行委員長
 - ・お話「見えないいたからのー」ことばが光るとき」井上修子(児童教育研究者)
- 第2部・選考経過報告
 - ・表彰式
 - ・入賞者による詩の朗読

懇親会 22名参加。

12月18日／会報20号発行(編集＝高橋夏男、玉井洋子。発行＝福井久子。発行所＝事務局・玉井方) ・B5判、8頁

☆12月4日「神戸文学館」が開館。

吉田草平『詩のカルチュア合同詩集Ⅶ』私家版
福田学詩集『僕はマジシャン』私家版
豊崎美夜詩集『チキンインザチキン』湯川書房
中堂けいこ詩集『枇杷狩り』土曜美術社出版販売
渡辺兼直詩集『散步道』編集工房遊

評論・エッセイ
杉山平一『詩と生きる私たち』編集工房ノア
高橋夏男『西灘村の青春―原理充雄人と作品―』風来舎
大塚子悠『星ひとつ―小剣さんを歩く―上司小剣評伝』私家版

洋書房
渡部兼直訳『レイモン クノオ ひとつの詩法のために』編集工房遊

詩誌
詩誌『輪』伊勢田史郎、赤松徳治、岩崎風子、江口節、岡見祐輔、各務豊和、直原弘道、丸本明子、渡辺信雄ほか同人。2006年7月100号で終刊。

高須剛・尾崎美紀詩誌『湾』1996年4月創刊
2006年11月通巻24号で終刊

3月13日〜18日／「神戸モダニズムの詩人たち展」(兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー東館)

・入場者のべ350名

・「兵庫・詩の現在展」「ひょうご詩画展」を併催。会員の関わる詩誌30誌展示。詩画展は27名33点の作品が寄せられる。

3月17日／講演会「モダニズムと現代」講師 鶴岡善久(詩人、シュルレアリスム研究者) 14時00分

・懇親会(喫茶レストラン「ポニー&クライド」) 16時00分

★「神戸モダニズムの詩人たち」抄出詩篇集」B5判、8頁(兵庫県現代詩協会発行冊子)

5月20日／理事会と総会を開催。

◆第21回理事会(神戸市中央区ラッセホール) 11時00分

◆第11回総会(同会館「ハイビスカスの間」) 13時00分

・新年度役員人事案可決

▼常任理事 福井久子(会長)、鈴木漠、たかとう匡子、松尾茂夫(副会長) ▼玉井洋子(事務局長) ▼小西誠(会計) ▼高橋夏男(会報・兵庫詩の現在展)、谷田寿郎・三宅武(アンソロジー)、渡辺信雄(企画展ほか印刷関係)。

▼理事 大西隆志、大賀二郎、神田さよ、季村敏夫、玉川侑香、時里二郎。

▼監事 高谷和幸、在間洋子

▼新顧問 伊勢田史郎、直原弘道、安水稔和、和田英子

▼新名誉会員 橋本光子、藤川満智子、山南律子

今期入会0名、退会8名。5月20日現在在籍会員193名。

・日本現代詩人会から協力要請の「西日本ゼミナール」神戸開催の受け入れ態勢を整える方針報告、アンソロジー発行参加費決定等。

・講演研修会「モダニズム詩の登場―詩誌『亜』と『詩と詩論』を中心に」 福田知子(会員、立命館大学大学院在籍)

・懇親会(ラッセホール地下「パンジー」)。詩の朗読など。参加者約30名。

6月18日／会報21号発行(編集 高橋夏男、玉井洋子。発行 福井久子。発行所 事務局・玉井方)

・B5判、8頁

11月11日／理事会と第8回「ふれあいの祭典 詩のフェスタひょうご2007」(兵庫県民会館11階パルテホール)の開催。

・第22回理事会(同会館12階会議室) 10時30分

・兵庫県「ふれあいの祭典」協賛事業 第8回「詩のフェスタ」(兵庫県民会館11階パルテホール)

第1部・挨拶 福井久子実行委員長

・記念講演「少しでもきまます 作文の妙薬―たえのもつ底力」

講師 小崎佳奈子(児童教育研究者)

第2部・各部門選考経過報告 直原弘道、高谷和幸審査委員

・表彰式

懇親会 17時00分

2007年/詩集

春名純子詩集『猫座まで』編集工房ノア

神田さよ詩集『おいしい塩』編集工房ノア

関はるみ詩集『呼び止められて』澤標

小西たか子詩集『水壘』湯川書房

田中信爾詩集『春光』編集工房ノア

森本敏子詩集『無銘の楽器』編集工房ノア

金田弘子詩集『青衣の女人』湯川書房

猪谷美知子詩集『亀との夕刻』朝日カルチャーセンター

石山淳詩集『石山淳詩集』テレビ文庫

直原弘道『直原弘道掌詩片2007』私家版

伊勢田史郎詩集『伊勢田史郎詩集 新・日本現代詩文庫46』土曜美術社出版販売

たかとう匡子詩集『新編』ヨシコが燃えた』澤標

丸本明子詩集『花影』編集工房ノア

田中敏弘詩集『重吉詩境』私家版

たなかとしひろ詩集『あのひのように』詩稿

2

評論・エッセイ

直原弘道『神戸詩史の片隅で』中島正夫(蟹

沢悠夫)ノート』私家版

安水稔和評論集『内海信之 花と反戦の詩人』

編集工房ノア

北原文雄『島で生きる』教育出版センター

北原文雄『伝えておきたいこと』教育出版セン

市川宏三『たゆらぎ山に覽群れて―播磨の文

化運動物語』北星社

〈共著〉福田知子評論集『スペイン内戦とガル

シアロルカ』南雲堂フェニックス

〈共著〉寺田操エッセイ集『酒食つれづれ』白

地社

句集

田中信爾句集『冬萌百二十句』編集工房ノア

伊丹公子句集『私の手紙 伊丹公子第13句集』沖

積舎

- ・ 一般部門受賞作のお披露目など
 - ・ 参加者27名
 - ・ 応募総数848名。一般部門A（高校生除く）92名、一般部門B（高校生）188名、ジュニア部門660名。
- 12月18日／会報22号発行（編集＝高橋夏男、玉井洋子。発行＝福井久子。発行所＝事務局・玉井方）
- ・ B5判、8頁
- ★2月29日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2007』刊行（発行人＝福井久子）
- 3月11日～16日／「四季と兵庫の詩人たち展」（兵庫県立美術館 原田の森 ギャラリー東館）。「兵庫・詩の現在展」、「ひょうご詩画展」併催
- ・ 入場者のべ400人余
- 3月15日／講演＝杉山平一、対談＝安水稔和・杉山平一
- 5月31日／理事会と総会を開催。会場は（サンピア明石）。
- ◆ 第23回理事会（1階B会議室） 11時00分～
 - ◆ 第12回総会（3階「黎明の間」） 13時00分～
- ・ 会員総数189名。出席34名、委任状95名。
- ・ 記念講演「八木重吉の詩境」講師＝田中敏弘（関西学院大学名誉教授）
 - ・ 懇親会（4階「平安の間」）

2008年／詩集

江口節詩集『草蔭』土曜美術社出版販売
 香山雅代詩集『粒子空間』編集工房ノア
 阿部由子詩集『水先案内人』思潮社
 朝倉裕子詩集『詩を書く理由』編集工房ノア
 永井ますみ詩集『弥生の昔の物語』土曜美術社出版販売

安水稔和詩集『くさや』編集工房ノア
 西川めぐみ詩集『ほどらいに』風来舎
 佐藤勝太詩集『夕陽の光芒』竹林館
 芦田はるみ詩集『雲ひとつ見つけた』編集工房ノア

かただときこ詩集『スパテラと子どものアンサンブル』前田精版

佐土原夏江詩集『たんぼのはな』編集工房ノア
 鈴木絹代詩集『ありがと』編集工房ノア
 たかきたかよし詩集『四時―夜をつたう』編集工房ノア

たなかとしひろ詩集『詩稿3～9』私家版
 眞田千穂詩集『花のことづて』私家版
 西川昭五詩集『やきものの詩』澤標
 渡部兼直詩集『地球訪問』編集工房遊
 直原弘道詩集『掌詩片2008』II 私家版
 滝悦子詩集『薔薇の耳のラバ』図書出版まろうど社

土屋宣子詩集『家路』摩耶出版社

- 6月17日／会報23号発行（編集＝高橋夏男、玉井洋子。発行＝福井久子。発行所＝事務局・玉井方）
- ・ B5判、8頁
- 7月26日／「西日本ゼミナールinこうべ」日本現代詩人会と共催（兵庫県民会館ホール）
- ・ 講演「詩論の方へ」講師＝岩成達也
 - ・ 講演「やつとわかりかけてきたこと」講師＝安水稔和
 - ・ ミニコンサート（大西隆志理事率いるアマチュアバンド演奏）
 - ・ 詩の朗読
 - ・ 懇親会
 - ・ 参加者180人余
- 11月16日／理事会と第9回「ふれあいの祭典詩のフェスタひょうご2008」の開催。
- ・ 第24回理事会（兵庫県民会館12階会議室） 10時30分～
 - ・ 第9回「詩のフェスタひょうご2008」（同会館11階パルテホール） 13時00分～
- 第1部・挨拶＝福井久子実行委員長
- ・ 記念講演「はずむ心 はずむ言葉」講師＝長嶋和代（児童教育研究者、小学校教諭）
- 第2部・各部門選考経過報告。表彰式＝作者による朗読
- ・ 懇親会＝一般部門の受賞作お披露目。参加者35名。
 - ・ 応募総数810名。一般部門128名、高校生98名、小中学生584名。

評論・エッセイ

伊勢田史郎『日本人の原郷・熊野を歩く』編集工房ノア

志賀英夫『戦後詩誌の系譜』詩画工房

田中敏弘『経済学史研究と私』関西学院大学出版会

福田知子評論集『詩的創造の水脈―北村透谷・金子筑水・園頼三・竹中郁』晃洋書房

永井ますみエッセイ集『弥生ノート』私家版

直原弘道『神戸詩史の片隅で』私家版

〈共著〉寺田操詩論集『小野十三郎を読む』思潮社

詩画集

金田弘詩画集『シムボルのない季節』画廊山木美術

絵本・童話

尾崎美紀絵本『わくわくちくわくん』ストーク

尾崎美紀絵本『まるくておつきてまっくらで』ひさかたチャイルド

尾崎美紀童話『ちよっと源さん お借りしませ』文研出版

詩誌

時里二郎詩誌『Loggia』1月刊刊通巻15号

寺田操個人誌『Poetry Edging』創刊 通巻33号

12月16日／会報24号発行(編集〓高橋夏男、玉井洋子。発行〓福井久子。発行所〓事務局・玉井方)

・B5判、8頁

〈兵庫県現代詩協会ホームページ〉

総会時、会報担当 高橋夏男から紫野京子へ兵庫県現代詩協会ホームページの開設協力要請。

11月26日／理事会で、作業を進める了承を得る。

11月28日／兵庫県現代詩協会ホームページ開設準備会合(ラッセホール1階喫茶室) 紫野京子、直原弘道、渡辺信雄。

2009年1月28日／理事会に、試作持ち込み了承を得る。

2009年2月末／開設

3月10日〜15日／兵庫県ゆかりの詩人たち展(第9回)「リアリズムの詩人たち展」(兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー)

3月14日／講演「リアリズムの深淵」たかとう匡子(当会副会長)、参加者90人余

5月31日／理事会と総会の開催。

◆第25回理事会(パレス神戸7階スカイルーム) 10時30分

◆第13回総会(同2階「葵の間」) 13時00分

・新型インフルエンザ騒動で危ぶまれたが、予定どおり開催された。

・会員総数189名。出席42名、委任状出席105名。

2009年／詩集

小西民子詩集『春のソナチネ』編集工房ノア

たかとう匡子詩集『女生徒』思潮社

坂東里美詩集『変奏曲』あざみ書房

和比古詩集『風の構図』ユニウス

永井ますみ詩集『短詩抄』山の街企画

永井ますみ詩集『愛のかたち』土曜美術社出版販売

安水稔和詩集『遠い声 若い歌』安水稔和全詩集以前の未刊詩集 沖積舎

小西誠詩集『八月の蛇』土曜美術社出版販売

田中敏弘詩集『雑木林の向こうに』摩耶出版社

金田弘詩集『虎擲龍拳』書肆山田

坂本久刀詩集『貂』詩遊社

以倉紘平詩集『フライリッパ・マローウの拳銃』沖積舎

寺岡良信詩集『焚刑』図書出版まろうと社

たなかとしひろ詩集『詩稿9』私家版

たなかとしひろ詩稿『泥まみれの信仰』賀川豊彦 私家版

たなかとしひろ詩集『雑木林の向こうに』摩耶出版社

丸本明子詩集『丸本明子詩集 新・日本現代詩文庫60』土曜美術社出版販売

大塚子悠詩集『雲のおとしもの』信樹舎

渡部兼正詩集『梨の体をしてゐるいくつかの詩』編集工房遊

西村好子詩集『寂しい近代』翰林書房

・新年度役員人事案可決

▼常任理事〓三宅武(会長) ▼鈴木漠、たかとう匡子、松尾茂夫(副会長) ▼玉井洋子(事務局長) ▼小西誠(会計)、高橋夏男、谷田寿郎、渡辺信雄。▼理事〓岩崎風子、大西隆志、尾崎美紀、神田さよ、紫野京子、

時里二郎、たかぎたかよし、中堂けいこ。

▼監事〓在問洋子、高谷和幸。

・第2部 講演研修会「賀川豊彦の文学について」谷田寿郎(会員)

6月17日／会報25号発行(編集〓高橋夏男、玉井洋子。発行〓三宅武。発行所〓事務局・玉井方) ・B5判、8頁

11月21日／理事会と第10回「ふれあいの祭典詩のフェスタひょうご2009」の開催。

・第26回理事会(兵庫県民会館12階会議室) 10時30分

・第10回「ふれあいの祭典詩のフェスタひょうご2009」(同会館11階パルテホール) 13時00分

・応募総数696名。一般部門10名4、高校生136名、ジュニア459名

・表彰式

第1部・挨拶〓三宅武実行委員長

・講演「ころがることば、ひろがることば」講師〓尾崎美紀(児童文学研究者)

・懇親会 17時00分〜運営委員と受賞者、入選者以外の会員参加は4名。催しのありかたを問われる状況。

評論・エッセイ

田中荘介詩文集『わが生涯』大和出版

安水稔和評論集『未来の記憶』菅江真澄同行

編集工房ノア

季村敏夫評論集『山上の蜘蛛 神戸モダンズムと海港都市ノート』みずのわ出版

鳥巢郁美詩論・エッセイ集『思索の小径』コールサク社

〈共著〉福田知子評論集『芸術はどこから来て、どこへ行くか』晃洋書房

〈共著〉寺田操エッセイ『記憶の風穴』四季同人

詩誌

詩誌「ENTASIS」創刊2014年11号へ

終刊 福井久子・山本美代子・田中荘介

かただときこ・大賀二郎詩誌『風箋』2009

年8月創刊2015年8号で終刊

句集

増田まさみ句集『ユキノチクモリ』霧工房

12月16日／会報26号発行（編集＝高橋夏男、玉井洋子。発行＝三宅武。発行所＝事務局・玉井方）
・ B5判、8頁

★2月28日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2009』刊行（発行人＝三宅武）

3月9日／「兵庫の戦後詩（1945～1960）展」（県立美術館 原田の森ギャラリー・東館）

・ 「ひょうご」詩画展2010 「兵庫・詩の現在展」 併催

3月13日／講演会「活字表現としての詩」 季村敏夫

・ 懇親会（ロイヤルホスト西灘店）

6月6日／理事会と総会を開催。

◆第11回理事会（姫路文学館 望景亭奥座敷） 11時00分／

◆第14回総会（同館3階講堂） 13時30分／

・ 会員総数185名。出席31、委任状90。

・ 記念講演「時代の悲（カルナー）を宿した芸術―良寛の毬つき唄を中心に」 講師＝以倉紘平（会員）

・ 詩の朗読会（同会場）

・ 懇親会（イーグル姫路「ミレ」） 26名参加。

2010年／詩集

平岡けいこ詩集『幻肢痛』砂子屋書房

神尾和寿詩集『地上のメニュー』砂子屋書房

香山雅代詩集『綾を織るまで』砂子屋書房

西海ゆう子詩集『旅の途上』私家版

吉田草平短詩集『だんまり石に生まれ変われ』

耕虫舎

工藤恵美子詩集『光る滯』^{ひかみお} テニアン島II 編集

工房ノア

直原弘道詩集『異郷への旅』コールサック社

安水稔和詩集『ひかりの抱擁』編集工房ノア

佐藤勝太詩集『陽炎の向こう』竹林館

高谷和幸詩集『エジタブル・パーティー』思潮社

石山淳詩集『邪悪な者』編集工房ノア

望月宏三郎詩集『聖週間』編集工房ノア

中島まさの、中島友子詩集『まさのさん』編集

工房ノア

田中敏弘詩集『里山のスパイラル―く三』私家版

たなかとしひろ『詩稿イエスをめぐる人々』

正・統 私家版

福井久子詩集『飛天幻想』編集工房ノア

今猿人詩集『Sixteen's』編集工房MO吉

中堂けいこ詩集『ホバリング』書肆山田

紫野京子詩集『風の芍薬』月草舎

たかぎたかよし詩集『夜の叙法』編集工房ノア

鳥巢郁美詩集『浅春の途』コールサック社

6月22日／会報27号発行（編集＝高橋夏男、玉井洋子。発行＝三宅武。発行所＝事務局・玉井方）
・ B5判、8頁

11月23日／理事会と第11回「ふれあいの祭典 詩のフェスタひょうご2010」の開催。

・ 第28回理事会（兵庫県民会館12階会議室） 11時00分／

・ 第11回「ふれあいの祭典 詩のフェスタひょうご2010」（同会場11階パルテホール） 13時00分／

第一部

・ 講演「感受性という贈り物」 丸田礼子

・ 表彰式

・ 懇親会＝受賞者含む20名参加

12月26日／会報28号発行（編集＝高橋夏男、玉井洋子。発行＝三宅武。発行所＝事務局・玉井方）
・ B5判、8頁

3月15日～20日／企画展『「蜘蛛」の仲間たち展』（原田の森ギャラリー）

・ 「ひょうご」詩画展「兵庫・詩の現在展」 併催

・ 記念講演会＝伊勢田史郎、安水稔和

・ 詩画展会場で東日本大震災義援金を募集。3万円と寄付金2万円、計5万円を東日本大震災兵庫義援金募集委員会口座に振込。

評論・エッセイ

井上修子児童文学『あいうえおおきなこえで、

はやくちでよめるかな』エイデル研究所

安水稔和旅行記『新編 幻視の旅』沖積舎

安水稔和評論集『杉山平一 青をめぐして』編

集工房ノア

たかぎたかよし散文集『回遊と伏流 時の流

離』霧工房

季村敏夫評論集『窓の微風 モタニズム詩断層』

みずのわ出版

高橋夏男評伝『穰治君への手紙』編集工房ノア

田中信爾句集『秋光』編集工房ノア

伊丹公子句集『博物の朝 伊丹公子句集』角川書店

望月逸子朗読CD『旅立ち』吟遊詩人社

詩誌

望阿部由子個人詩誌『青い麦』2010年7月

創刊

鈴木漠 連句誌『OTAKSA』2003年3月

創刊2010年20号で終刊

鈴木漠 詩と連句誌『おたくさII』2010年6

月刊創刊通巻20号

4月23日／第29回常任理事会・理事会（私学会館） 13時00分
5月29日／第15回総会を開催。

第1部

- ・第15回総会（ラッセホール5階「コスモスの間」） 13時00分
- ・会員総数182名。出席33、委任状90。
- ・新年度役員人事案可決

▼常任理事●松尾茂夫（会長）▼鈴木漠・たかとう匡子・時里二郎（副会長）▼高谷和幸（事務局長）、小西民子（会計）、大西隆志、神田さよ、在間洋子、玉井洋子、三宅武。

▼理事●尾崎美紀、岩崎風子、紫野京子、たかぎたかよし、高橋夏男、丸田礼子、中堂けいこ、渡辺信雄。

▼監事●小西誠、谷田寿郎。

・会員の高齢化に伴い増え続ける「名誉会員」（80歳以上）を定める会則条項を廃止。

・アンソロジーの発行頻度は、次年度から補助金増額が見込まれるため年刊に変更。

第2部

・詩の朗読「東北大震災被災地にエールをおくろう」（朗読者18名）懇親会（同館地下1階「バイオレットの間」）参加者22名。大賀二郎氏による被災地・福島体験談「それは一切を拒否した」等。

6月20日／会報29号発行（編集●神田さよ、高谷和幸。発行●松尾茂夫。発行所。事務局●高谷方） ・B5判、8頁

2011年／詩集

神尾和寿詩集『神尾和寿詩集 現代詩人文庫 14』砂子屋書房

香山雅代詩集『香山雅代詩集 新・日本現代詩文庫84』土曜美術社出版販売

今村欣史詩集『喫茶 輪』私家版

黒住考子詩集『道なりに』編集工房ノア

鈴木漠詩集『遊戯論』編集工房ノア

杉山平一詩集『希望』編集工房ノア

田中敏弘詩集『重吉よー里山のバストラール』摩耶出版社

田中敏弘詩集『櫛の実』私家版

佐野博美詩集『風がやさしく吹くように』文芸社

にしもとめぐみ詩集『マリオネットのように雨は 滯標』

季村敏夫詩集『ノミトビヒヨシマルの独言』書肆山田

内田正美詩集『光ふる街』滯標

寺岡良信詩集『凱歌』図書出版まろうど社

北岡武司詩集『スピラスイヨン』土曜美術社出版販売

黒住考子詩集『道なりに』編集工房ノア

永井ますみ連詩アンソロジー『山の街から』山の街企画

植村孝詩集『長い旅の果ての回想』ブックウエイ

石山淳詩集『異端のレクイエム』私家版

岩崎風子詩集『玻璃となって』書肆山田

赤松徳治詩集『赤松徳治詩集 新・日本現代詩文庫89』土曜美術社出版販売

11月23日／「ふれあいの祭典 詩のフェスタひょうご2011」（兵庫県民会館11階バルテホール）を開催。

・挨拶●松尾茂夫会長

・講演●たかとう匡子副会長「百年読みつがれてきた童謡詩」

・選考経過報告●時里二郎副会長

12月19日／会報30号発行（編集●神田さよ、高谷和幸。発行●松尾茂夫。発行所。事務局●高谷方）

・B5判、8頁

★2月20日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2009』刊行（発行人●松尾茂夫）

3月9日〜20日／「ボエム&アート・コレクション2012」（神戸文学館）

・「詩画展」を改め「ボエム&アート・コレクション」としてスタート。「兵庫・詩の現在展」併催

3月10日／鼎談「誰もいない風景にむかう―震災をめぐる詩とアート―」司会●大西隆志 ゲスト●細見和之、宮崎みよし、山田兼士

3月17日／シンポジウム「被災地から考える東日本大震災」パネラー●たかとう匡子 司会●大橋愛由等

評論・エッセイ

田中莊介詩文集『わが余生』大和出版

松尾茂夫評論集『チャップリンと詩人たち』摩耶出版社

寺田操評論集『尾崎翠と野溝七生子―二十一世紀を先取りした女性たち』白地社

安水稔和旅行記『菅江真澄と旅する―東北遊覧紀行』平凡社新書

伊丹公子随筆集『港都譚 伊丹公子エッセイ集』沖積舎

連句集

鈴木漠連句集『轆轤帖』編集工房ノア

小説

中島妙子小説集『空を舞う手』編集工房ノア

絵本

尾崎美紀『バナナわに』ひさかたチャイルド

詩誌

かただときこ、大賀二郎文芸誌『さんが』創刊通巻5号

詩誌『空町』渡辺信雄、仲清人ほか 創刊2011年11月通巻5号

詩誌『第三期層』6月77号で終刊 1973年3月創刊・赤松徳治、北見哲也、三宅武、さかたしげし、諸井良一郎、たかとう匡子、谷田寿郎

6月3日／第16回総会を開催。

第1部

・第15回総会（西宮市民会館）13時00分／
・会員総数171名。出席41、委任状82。

第2部

・講演「時里二郎副会長「詩が書けなくなつて」

第3部

・司会と進行「寺岡良信（朗読者10名によるアンソロジー出版記念朗
読会を行う）」
懇親会「四つ葉庵」47名参加。

6月30日／会報31号発行（編集「神田さよ、高谷和幸。発行「松尾茂夫。発
行所。事務局「高谷方」

・A4判、8頁（31号から会報の判型がA4判となる）

11月18日／「詩のフェスタひょうご2012」（兵庫県民会館11階バルテホ
ール）を開催

・ジュニア部門の表彰式
・講演会 講師「小池昌代「歌と詩のあいだ」

・朗読会
・懇親会「ニューミュンヘン」

第1部・挨拶「三宅武実行委員長

・講演「ころがることば、ひろがることば」講師「尾崎美紀（児

2012年／詩集

内藤「富美代詩集『巡礼の夏』 澤標

江口節詩集『オルガン』 編集工房ノア

和比古詩集『道化の構図』 ユニウス

高橋富美子詩集『子盗り』 思潮社

水こし町子詩集『時を見ているキリン』 砂子
屋書房

住吉千代美詩集『分水嶺を越え』 土曜美術社

出版販売

山崎啓治詩集『神様の憂うつ』 澤標

佐藤勝太詩集『峠の晚霞』 竹林館

伊勢田史郎詩集『海のうえの虹』 編集工房ノア

佐野博美詩集『生命の季節』 文芸社

季村敏夫詩集『豆手帳から』 書肆山田

季村敏夫詩集『新版 日々のすみか』 書肆山田

大橋愛由等詩集『明るい迷宮』 書肆風羅堂

中島妙子詩集『花贄』 編集工房ノア

植村孝詩集『水色の音楽』 ブックウエイ

足立勝蔵詩集『百日紅』 私家版

福田知子詩集『ノスタルギイ』 思潮社

鳥巢郁美詩集『鳥巢郁美詩選集142篇』 コール
サク社文庫8 コールサク社

評論・エッセイ

田中荘介詩文集『日はゆるやかに』 大和出版

玉川侑香エッセイ集『れんが小路の足音』 風来舎

安水稔和舞台のための作品集『紫式部なんか怖
くない』 編集工房ノア

12月／役員選挙の実施

12月20日／会報32号発行（編集「神田さよ 発行「松尾茂夫」
・A4判、8頁

1月11日〜22日／「ボエム&アートコレクション展」を神戸文学館で開催
する。

1月12日／詩を音楽にのせてコンサート

1月19日／神戸・兵庫を生きた詩人を語る一回目「綾見謙『兵庫詩人』の
世界」パネラー「たかとう匡子、司会「大橋愛由等

3月10日／第一回文学紀行 岡山後楽園と吉備路文学館を訪ねる

吉備路文学館にて岡山の詩人との交流

高田千尋氏による講演「永瀬清子について」

（文学紀行は2012年度の新規事業です）

童文学研究者）

・懇親会 17時00分〜運営委員と受賞者、入選者以外の会員参
加は4名。催しのありかたを問われる状況。

季村敏夫評論集『災厄と身体 破局と破局の

あいだから』 書肆山田

連句集

鈴木漠連句集 ひよんの会編『靈心』 編集工房
ノア

絵本

たかとう匡子・たじまゆきひこ共著絵本『よし
こがもえた』 新日本出版社

CD

望月逸子朗読CD「たいせつなものへ」 吟遊詩
人社

句集

伊丹公子句集『伊丹公子全句集』 沖積舎

石山淳句集『カノンの海』 ひろば俳句会

川柳句集

（共著）佐野博美・佐野美知子川柳句集『宇宙』
文芸社

詩誌

江口節発行「詩誌 鶴鶴」2012年6月刊

刊・通巻5号

5月19日／第17回総会を開催。

第一部

◆第17回総会(ラッセホール「ハイビスカス」)

◆承認新理事▼会長「たかとう匡子」▼副会長「時里二郎、玉井洋子」

▼事務局長「高谷和幸」▼事務局次長「神田さよ」▼会計「小西民子」

▼常任理事「大橋愛由等、丸田礼子、三宅武」

▼理事「梅村光明、大西隆志、神尾和寿、中堂けいこ、渡辺信雄」

▼監事「在間洋子、谷田寿郎」

講演会「講師 北岡武司「センスと意味」

朗読会「5名参加」

7月1日／会報33号発行(編集「神田さよ」発行「たかとう匡子」)

・A4判、8頁

7月15日／第1回読書会「北川透の詩について」(私学会館)

チューター「たかとう匡子」(読書会は今年度から始まった新事業)

10月20日／「ふれあいの祭典詩のフェスタひょうご2013」(ラッセホー

ル サンフラワー)を開催。

・ジュニア詩のワークシヨップ

・講演会「講師「北川透」「いま、詩は何処で生きているのか」

・懇親会「「ニューミュンヘン」

2013年／詩集

彼末れい子詩集『ことばによる原色ぎのこ園

鑑』風来舎

時里二郎詩集『石目』書肆山田

永井ますみ詩集『永井ますみ詩集 新日本現代

詩文庫110』土曜美術社出版販売

入江田吉仁詩集『宙の墓』日本文学館

在間洋子詩集『生樹の門』土曜美術社出版販売

安水稔和詩集『記憶の目印』編集工房ノア

山崎啓治詩集『粹なべべ』ブイツーソリユー

シヨソ

田中敏弘詩集『無人駅』摩耶出版社

佐野博美詩集『生命の季節』文芸社

井口幻太郎詩集『奇妙な商売』摩耶出版社

佐伯圭子詩集『蘭玉の中で息をつめて』思潮社

猪谷美知子詩集『水槽の中で』濔標

山口洋子詩集『魔法の液体』思潮社

たかきたかよし詩集『うっし世を勝る』編集工

房ノア

渡部兼直詩集『渡部兼直全詩集1』編集工房ノア

中島妙子詩集『無家つれづれ』弘報印刷

評論・エッセイ

安水稔和評論集『ぼくの詩の周辺―初期散文

集』沖積舎

安水稔和ラジオのための作品集『島の領土』

編集工房ノア

安水稔和自叙伝『生あるかぎり言葉を集めー

神戸、この街で』神戸新聞総合出版センター

11月30日／第2回読書会「中原中也の詩について」(私学会館)

チューター「たかとう匡子」

12月20日／会報34号発行(編集「神田さよ」発行「たかとう匡子」)

1月14日〜28日／「第3回ポエム&アートコレクション展」を神戸文学館

で開催。・詩の現在展も併設。

1月18日／詩の朗読会

1月25日／「兵庫・神戸を生きた詩人を語る②」

テーマ「足立巻一」語り手「たかとう匡子」司会「大橋愛由等

★2月20日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2013』刊行

(発行人「たかとう匡子」)

3月2日／第二回文学紀行

(近江紀行) 木之本〜渡岸寺〜長浜

5月18日／第18回定期総会(神戸市中央区ラッセホール・ハイビスカスの

間)を開催。

・講演会「講師「神尾和寿」「沈黙」から「沈黙」へくヴァイトゲンシュ

タインの哲学について」

・朗読会10名参加。

・懇親会「松屋」

2014年／詩集

鈴木漢『続続 鈴木漢詩集』編集工房ノア

安水稔和詩集『有珠』編集工房ノア

田中敏弘詩集『ゆずりはのように』摩耶出版社

佐藤勝太詩集『果てない途』編集工房ノア

田中信爾写真詩集『音の変幻』竹林館

永井ますみDVDと詩集『弥生の昔の物語抄』

山の街企画

高谷和幸詩集『シアン沼の沼地』思潮社

牧田榮子『手作りバベット&八つの小さなお

話』濔標

田中荘介詩文集『日はゆるやかに』大和出版

植村孝詩集『エッセイ集「未達の夢」』詩人の事

件簿』ブックウェイ

翻訳

〔共訳〕安西佐有理英訳、手島隼人短歌集『若き

日の歌』神戸新聞出版総合センター

絵本

尾崎美紀『のどぼとけさん』チャイルド

詩誌

詩とエッセイ誌『階段』伊勢田史郎、岩崎風子、

鈴木漢、時里二郎、渡辺信雄ほか、1989

年10月創刊〜2013年6月、41号で終刊。

高谷和幸・カフエクリの会誌誌「OC」創刊

通巻4号・大西隆志、大橋愛由等、月村香、

中堂けいこ他

5月31日／第3回読書会 「萩原朔太郎の詩を読む」(私学会館)
チューター＝時里二郎

7月1日／会報35号発行(編集＝神田さよ。発行＝たかとう匡子)

7月20日／第4回読書会 「藤井貞和の詩と表現世界について」(私学会館)
チューター＝大橋愛由等

10月5日／「ふれあいの祭典詩のフェスタひょうご2014」(ラッセホール) ハイビスカスの間」を開催。

・講演会 講師＝藤井貞和 「詩は抗う地球のノート」

・朗読会 5名参加

・懇親会 「ニューミュンヘン」

11月24日／第5回読書会 「茨木のり子の詩を読む」(私学会館)
チューター＝丸田礼子

12月17日／会報特別号発行 「阪神・淡路大震災から20年を想う」(45名の会
員書き下ろし詩稿による震災から20年を前にした追悼特集) (編集＝大
橋愛由等 発行＝たかとう匡子)

12月20日／会報36号発行(編集＝神田さよ。発行＝たかとう匡子)
A5判・8頁

1月11日～24日／「第4回ポエム&アートコレクション展」を神戸文学館
で開催。

・詩の現在展も併設。

1月17日／メモリアルイベント 「阪神淡路大震災から20年にむきあう」
レクチャー＝たかとう匡子、司会＝大橋愛由等

3月15日／第三回文學紀行
丹波篠山と生野銀山

5月10日／第19回定期総会(明石市市民会館アワーズホール)を開催。
新役員 ▼会長＝たかとう匡子

▼副会長＝時里二郎

▼事務局長＝神田さよ

▼常任理事＝大橋愛由等、大西隆志、尾崎美紀、玉井洋子、中堂
けいこ、丸田礼子

▼理事＝梅村光明、神尾和寿、季村敏夫、小西民子、高谷和幸

▼監事＝谷田寿郎、渡辺信雄

・講演会 講師＝鈴木豊子氏 「シェイクスピア 出会いとその謎」

・朗読会 11名参加

・懇親会 「さかずき」

3月28日／第6回読書会 「吉野弘の詩について」(私学会館)
チューター＝神田さよ

伊丹公子詩集 『伊丹公子全詩集』 沖積舎
福永祥子詩集 『立方体の空』 ぼっと社舎
季村敏夫詩集 『膝で歩く』 書肆山田
寺岡良信詩集 『龜裂』 図書出版まろうど社
宮川守詩集 『あと半分もう半分』 風来舎
たなかとしひろ詩集 『ゆずりはのように』 摩耶
出版社

評論とエッセイ
たかとう匡子評論集 『私の女性詩人ノート』
思潮社

青木敬介評論集 『縁起と地球環境』 白照社
望月宏三郎ブログ集 『フクシマ後の生活と意
見』 ハイサム技研

連句集
鈴木漢連句集 『滅紫帖』 編集工房ノア
CD

望月逸子朗読CD 『祈り』 吟遊詩人社
詩誌
高橋富美子・山下寛ふたり誌 『木想』 創刊
通巻4号

川田あひる個人誌 『リフレクション』 2014
年9月創刊、通巻14号

2015年／詩集

江口節詩集 『果樹園まで』 コールサク社
神田さよ詩集 『傾いた家』 思潮社
和比古詩集 『擬人の構図』 ユニウス

橋本千秋詩集 『夢の箱』 編集工房ノア

安水稔和選詩集 『春よめぐれ』 (文庫判) 編集
工房ノア

安水稔和選詩集 『安水稔和詩集成(上・下)』
沖積舎

佐藤勝太詩集 『ことばの影』 コールサク社
谷部良一詩集 『四角い空と円い海と三角の日
常』 土曜美術社出版販売

紫野京子詩集 『切り岸まで』 砂子屋書房
たかぎたかよし詩集 『路傍 science』 霧工房

鮑浦敏詩集 『トゥバラーマを歌う』 土曜美術
社出版販売

青木左知子詩集 『身代わりたち』 澤標
豊崎美夜詩集 『ジャコメッティサラダ』 ふら
んす堂

植村孝詩集 『エラー表示の男から』 ブックウェイ
評論とエッセイ

神田さよエッセイ集 『東北ればーと』 私家版
安水稔和随想集 『声をあげよう言葉を出そう
神戸新聞読者文芸選者随想』 神戸新聞総合
出版センター

翻訳

オタ・フィリップ著、北岡武司訳 『お爺ちゃん
と大砲』 春風社

詩誌
江口節 詩誌 『叢生』 1982年創刊(島田洋
子) 2015年10月200号で終刊

7月1日／会報37号発行（編集＝神田さよ。発行＝たかとう匡子）
A5判・8頁

7月18日／第7回読書会「佐々木幹郎の詩精神について」文字ではなく「声」を探して」（私学会館）
チューター＝季村敏夫

10月4日／「ふれあいの祭典詩のフェスタひょうご2015」（ラッセホール ハイビスカスの間）を開催。

- ・講演会 講師＝佐々木幹郎「書くこと、待つこと」中原中也とチェホフをめぐって
- ・朗読会 10名参加
- ・懇親会 「金魚本店」

12月20日／会報38号発行（編集＝神田さよ。発行＝たかとう匡子）

1月9日～19日／「第5回ポエム&アートコレクション」を神戸文学館で開催。

- ・詩の現在展も併設。
- 1月16日／講演「兵庫・神戸を生きた詩人を語る③」中村隆の詩について」講師 たかとう匡子
- ・詩と音楽の出会いコンサート 演奏者＝甲斐誠三、甲斐恵子

3月6日／第四回文学紀行
飛鳥路をゆく

3月20日／第8回読書会「草野心平の詩について」
チューター＝高谷和幸

- 5月9日／第20回定期総会（ラッセホール ハイビスカスの間）を開催。
- ・講演会＝講師 永井ますみ「万葉集と大伴家持―大伴家持さん私をそこに連れて行って」
 - ・朗読会 6名参加
 - ・懇親会 「がんこ寿司」

7月1日／会報39号発行（編集＝大西隆志。発行＝たかとう匡子）
7月31日／第9回読書会「高橋睦郎さんの詩について」
チューター＝時里三二郎

10月2日／「ふれあいの祭典詩のフェスタひょうご2016」（ラッセホール リリーの間）を開催。

- ・講演会 講師＝高橋睦郎「女性詩の力に導かれて」
- ・朗読会 13名が参加。
- ・懇親会 「ニューミュンヘン」

11月26日／第10回読書会「草野心平の詩について」

安水稔和主宰「火曜日」1984年6月創刊
2015年1月120号で終刊
福永祥子「汽水湖」2015年創刊・牧田榮子

2016年／詩集

田中荘介詩集『田中荘介自選詩集』澤標
望月逸子詩集『分かれ道』コールサック社
佐藤勝太詩集『名残の夢』コールサック社
野田かおり詩集『宇宙の箱』澤標
森田美千代詩集『寒風の中の合図』澤標
田中敏弘詩集『イエスをめぐる人間像』関西学院大学出版会
神尾和寿詩集『アオキ』編集工房ノア

評論・エッセイ

安水稔和『隣の隣は隣』編集工房ノア
安水稔和『神戸、わが街―ここがロドスだ』
ここで踊ろう』神戸新聞総合出版センター
伊勢田史郎『またで散りゆく―岩本栄之助と中央公会堂』編集工房ノア
〔共著〕寺田操『尾崎翠を読む』全3巻
今井出版

連句集

鈴木漠『連句茶話』編集工房ノア
絵本
尾崎美紀『バナナわにはじめてのぼうけん』
チャイルド

▼会員による詩誌紹介

〈あ行〉

「a wind egg」川田あひる 1999年12月創刊
「青い表」阿部由子個人詩誌 2010年7月創刊
「明石大門だより」増田まさみ
「芦屋芸術」山下徹
「ア・テンポ」1993年創刊 通巻59号・赤坂恒子、井之上幸代、今村さつき、内田正美、梅村光明、大西久代、玉井洋子、牧田榮子、丸田礼子、山口洋子、山本真弓、由良佐知子
「あむの木通信」福永祥子
「アリゼ」以倉紘平 1987年9月創刊・池田辰彦、北川清仁、在間洋子、梓野陽子、豊崎美夜、鮑浦敏、小池一郎、田代久美子、丸山真由美、桃谷容子、柳内やすこ、綿貫千波、吉崎みち江、松本昌子
「淡路島文学」北原文雄
「ENTASIS」創刊 2014年11号で終刊
福井久子・山本美代子・田中荘介
「鶴鶴」江口節発行 2012年6月創刊・通巻5号
「OCT」高谷和幸・カフエクリの会 2013年創刊 通巻5号・大西隆志、大橋愛由等、月村香、中堂けいこ、情野千里、吉田ふみえ、千田草介、田村周平、木澤豊、にしもとめぐみ、北岡武司、得平秀昌ほか

チューター 北野和博

12月20日／会報40号発行（編集 大西隆志。発行 たかとう匡子）

1月14日〜24日／「第6回ポエム&アートコレクション」（神戸文学館）
・詩の現在展も併設。

1月16日／講演「兵庫・神戸を生きた詩人を語る④ 君本昌久について」
講師 たかとう匡子

・コンサート「歌うように 語るように」 甲斐誠三・甲斐恵子

★3月18日／兵庫県現代詩協会『ひょうご現代詩集2016』刊行
（発行人 たかとう匡子）

3月18日／兵庫県現代詩協会創立20周年記念会へ詩で架けよう 未来に
むかつて〜&『ひょうご現代詩集2016（協会20年の歩み年譜つき）』
出版記念会 神戸元町「風月堂ホール」

（敬称略）

「OTAKUSA」鈴木漢 連句誌2003年3月
創刊2010年20号で終刊・香山雅代、小林
三千子、在間洋子、小路はすえ、成田アツ子、
松本昌子、森本多衣
「おたくさII」鈴木漢 詩と連句誌2010年6
月刊 通巻20号

〈か行〉

「槐」鳥巢郁美1981年創刊・嵯峨潤三、ふじ
わらさだ、駒崎盤
「海馬」佐伯圭子 1973年創刊池間久志、秋
津羊子、山下定雄、神吉都、池永祥子、富哲世
「貝の火」紫野京子1995年創刊香山雅代、
小林重樹、田口義弘、田中清光、中正敏、本
多寿、村岡空、朝倉勇、浅山泰美、雨宮テイ
コ、岡島弘子、香川紘子、小出眞理、後藤信
幸、清水茂、杉山平一、高野喜久雄、古田嘉
彦、星野徹、松本康子、真辺博章、明珍昇、山
南律子

「階段」伊勢田史郎 1989年10月創刊201
3年6月41号で終刊・岩崎風子、鈴木漢、時
里二郎、渡辺信雄ほか
「河口から」季村敏夫個人誌

「風の音」2012年5月創刊・通巻11号・植村
孝、森田美千代、青木左知子、萩美智子、野村
幸雄、牧田榮子、近藤香織、田野カズコ、野村
千代美、村野由樹、内田正美、たかとう匡子
「ガネット」神尾和寿

「叢生」江口節 1982年創刊（島田洋子）2
015年10月200号で終刊

「草」福田学個人誌2002年創刊
「空野」渡辺信雄

「それから」玉川侑香 2007年創刊

〈た行〉

「第三紀層」谷田寿郎 1972年創刊201
1年6月77号で終刊・三宅武、望月宏三郎、
赤松徳治、小西誠、さかたしげし、たかとう
匡子、谷田寿郎、中島妙子、湖上輝夫、宮川
守、森勝美、諸井良一郎

「多島海」江口節 2002年6月創刊 通巻28
号 松本衆司、彼末れい子、森原直子

「棚」志賀英夫
「たうろす」安水稔和 1963年1月創刊19
98年7月88号で終刊・発行人 安水稔和

▽小川正己、小島輝重、多田智満子、福井久
子、佐伯圭子ほか▽編集 山田幸平
「短詩の原っぱ」古田草平 2005年創刊
「鶴亀」中堂けいこ 2007年創刊

「低人通信」寺島珠雄
「鳶が城便り」足立勝蔵

「D」Paradoxus 坂東里美 2004年創刊
「鳥」なすこ 1983年創刊 通巻70
号 2011年号から足立勝蔵が参加

にしもとめぐみ、安西佐有理、黒田ナオ、中
嶋康雄、木澤豊、北岡武司、富岡和秀
「幻想時計」1991年創刊2005年2月通
巻25号で終刊・たかぎたかよし、木辺弘晃
仲清人、増田まさみ、渡辺信雄
「現代詩神戸」▽永井ますみ、松尾茂夫▽会員 飛
鳥聖羅、井口幻太郎、岩崎英世、大賀二郎、北
野豪一、北原文雄、小西誠、佐藤勝太、直原弘
道、渋谷魚彦、たかはらおさむ、田中信爾、中
川道子、西村好子、春名純子、藤井清、松尾茂
夫、水こし町子、宮川守、三宅武、渡辺信雄、江
口節、今井ふじ子、岩川昌子、鳳真治、児玉勲
顕、小西たか子、小西誠、斎藤直巳、在間洋子、
土屋宣子、谷田寿郎、豊原清明、本多ちえみ、丸
本明子、山下一也、山名才、湯口澄比古、和田
英子、小西民子、池永英三
「Contralto」坂東里美、関はるみ、森井克子
2002年創刊
「交差点」直原弘道、永井ますみ
「神戸こうべ芸文」神戸芸術文化会誌
「こうべ市民文芸」神戸市民文化振興財団

〈さ行〉

「沙羅」以倉紘平 2003年創刊
「さんがかただとき」大賀二郎 2014年創刊
「編猫」中堂けいこ 2001年創刊
「青穂」1974年創刊 西川昭五、高谷由之、田
村周平、本庄ひろし、益田義則
「戦争責任を心に刻む」たかはらおさむ

「火曜日」安水稔和主宰 1984年6月創刊 2
015年1月120号で終刊・松原千智、森
本敏子、村中秀雄、福岡映子、藤永久子、三
浦良則、乾禎子、森川佳代、近藤祐太郎、高
橋富美子、由良佐知子、中島瑞穂、柴田実、北
野和博、佐土 原夏江、田中信爾、渋谷魚彦、
鈴木絹代、日野洋重、松本恵子、橋本千秋、青
木恭子、明菜四三、工藤恵美子、黒住考子、井
上富美子、西岡孝子、松井潤、浅田恵子、豊
原清明、芦田はるみ、瑞木よう、中嶋康雄、市
村ふみ、南義一、今村欣史、神田さよ、山下
輝代、岩井八重美、高橋博子、入江美幸
「季」小林重樹
「海月」内海紀子
「乾河」朝比奈宣英 1990年創刊 有田忠郎、
斎藤健一、たかぎたかよし、武部治代、富岡
郁子、みえのふみあき、林堂一
「灌木（第2次）」高橋徹 1983年創刊200
2年578号で終刊・山本格郎、水谷なり
こ、大賀二郎、立川喜美子、中川道子、中西
衛、水谷なりこ、横田英子
「GALA」高橋徹 2002年創刊
「木想」高橋富美子・山下寛ふたり誌2001
4年創刊
「汽水湖」福永祥子、牧田榮子 2015年創刊
「月刊めらんじゅ」大橋愛由等編集発行 200
5年3月創刊・大西隆志、高谷和幸、寺岡良
信、富哲世、福田知子、中堂けいこ、月村香、

〈な行〉

「なびる」神戸・ひょうご芸術文化センター
「2/1」宮川守
「ねむの木通信」福永祥子
「野」井口太郎個人誌1986年創刊1993年休刊
「野火」但馬文学会議

〈は行〉

「花筏」住吉千代美
「花播」牧田栄子
「BIDS」詩と評論1995年9月創刊2000年5月終刊通巻27号・寺田操、吉田光夫、高橋秀明、松尾真由美ほか
「BIDS LIGHT」1998年5月創刊・寺田操、吉田光夫、日下部正哉ほか（終刊している）
「播火」柳谷郁子1989年創刊
「半どん」仙賀松雄、鈴木漢
「ハンモック」西垣矩美子
「播磨灘詩話」15周年記念誌 高橋夏男
「火の鳥」飛鳥魯万
「姫路文学」石山淳1948年創刊
「兵庫詩人」綾見謙、尾崎恵美子1996年93号で綾見謙が死去。夫人の尾崎恵美子が1999年に100号を出し終刊
「表情」文芸誌1992年10月創刊・通巻24号
▽香山雅代編集▽西宮市芸文協会発行▽大賀二郎、和比古、神田さよ、佐野博美、谷

〈わ行〉

「輪」伊勢田史郎1955年創刊2006年7月100号で終刊・中村隆、山本博繁、貝原六一、伊勢田が創刊同人。のち直原弘道、岡見祐輔、西田恵美子、灰谷健次郎、海尻巖、なかけんじ、各務豊和、北見哲哉、子森洋介、岩淵欽哉、桑島玄二、赤松徳治、岩崎風子、江口節、倉田茂、坪谷令子、丸本明子、山南律子、渡辺信雄
「湾」高須剛、尾崎美紀1996年4月創刊2006年11月通巻24号で終刊・石山淳、阿木鉄郎、田村周平

田寿郎、中川道子、佐伯圭子、春名純子、坂東里美

「別嬢」高橋夏男、松尾茂夫1990年創刊・住吉千代美、東めぐみ、大川ひろ子、片岡英恵、清水みどり、西川めぐみ、在間洋子、時安善子、月代光代、高谷和幸、西川保市、藤木明子、田村香ほか
「ブラタナス」玉川侑香、神戸詩人会議編集・1989年10月創刊通巻59号・彼未れい子、宮川守、浜野伸二郎、平田正昭、山本和代、真野洋子、畠中晁来雄、松嶋清秀

「文芸日女道」市川宏三1997年発足の姫路文学人会議が母体・高橋夏男、森本穂、中野信吉、玉川侑香、浜野伸二郎、三木智、西川めぐみ、大川ひろ子、青木啓介、土井比ほか
「風琴亭詩帖」山岸廣次
「風神」三浦照子1998年創刊 静文雄

「風箋」かたたととき、大賀二郎2009年創刊2015年8号で終刊
「風媒花」岩川昌子1990年創刊 井上幸枝、今村欣史、川上美智子、時安善子、八田光代、堀川悠子、松本悦子、阪口穰治、畠中藤次郎、高見清二、山下春彦、國谷武夫、高淵春樹

「ふらくたる」池永英二2003年創刊 藤井清
「別冊関学文芸」松尾繁晴、和田浩明、中嶋康雄ほか
「ベル・セゾン」小西たか子1993年創刊
中原緋佐子、山名才、秋山千恵子

「兵庫県現代詩協会 20年のあゆみ」
についての注記

▽この資料(表)は、兵庫県現代詩協会の発足(1997年)から20周年記念会(2017年)にいたるまでの協会の活動内容と会員の発行情報ならびに詩誌を紹介したものである。
▽原資料は、現会員に提出してもらった出版物、詩誌の情報と、協会が年に二回発行している「会報」の情報である(これ以外に書籍情報も参考)。
▽協会活動については、事業が行われたことについての簡単な事実の紹介としている。
▽会員の著作物については、「詩集」をはじめいくつかのジャンルにわたって紹介している。
▽物故会員ならびに退会会員の著作と詩誌の紹介については、現会員からの情報、会報、出版物からの情報をもとに紹介している。
▽詩誌については〈あゆみ〉表の下の欄(三段落目)に「協会発足前の詩誌」と「協会発足時から現在」と「会員による詩誌紹介」の三つに分けて紹介している。創刊年、終刊年、通巻がわかる場合は、「協会発足時から現在」に掲載。
▽年表最後の「会員による詩誌紹介」には、「協会発足時から現在」に掲載できなかった詩誌情報を一括して紹介した。ちなみに「会員による詩誌紹介」の表記は、①詩誌名②代表者(発行者、編集者)の氏名③創刊号、終刊号の情報④同人または詩誌参加者の氏名(物故者、退会者を含む)の順(この④は会員から寄せられた情報と会報の情報をあわせて掲載している。「協会発足時から現在」は現会員が中心。「会員による詩誌紹介」は物故、退会人も含まれている)

「Poetry Edging」寺田操個人誌2008年8月創刊

〈ま行〉

「街」四方章夫
「Mister」香山雅代1993年創刊・通巻48号・佐野博美、大堀タミノ、松尾直美、桂あさみ、名古屋哲夫、西川治男、大堀タミノ、土師かず子、渡部曙美、阿部由子、佐伯圭子、内藤恵子
「まほろば」たかはらおさむ1998年創刊
「Mlange」福田知子1982年創刊通巻49号、岩脇リール、豊美、大橋愛由等、栗山要、千田草介、高木富子、高谷和幸、月村香、中堂けいこ、中嶋康雄、西島祐子、安西佐有理、にしもとめぐみ、富哲世
「Monade」1994年創刊1997年12月10号終刊、衣笠潔子、小西民子

〈や行〉

「夜凍河」滝悦子個人誌2005年3月創刊・通巻22号
「惟」紫野京子2007年創刊
〈Q行〉
「RIVERA」横田英子主宰、永井ますみ1991年創刊
「リフレクシオン」川田あひる個人誌2014年創刊
「Togga」時里二郎個人誌2008年1月創刊・通巻15号